

履修の手引

女子美術大学短期大学部

2019

目 次

建学の精神	3	大学改革支援・学位授与機構による 学位の取得について	29
短期大学部 造形学科 カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施の方針)	3	□短期大学部 造形学科	31
短期大学部 造形学科 ディプロマポリシー (学位授与の方針)	3	卒業条件	32
主要日程	4	共通科目 (A群～E群)	33
学籍コード	6	美術コース	40
出席番号	6	デザインコース	41
本学ポータルサイト「Active Academy」	6	専門科目	42
授業	7	2019年度入学生 教育職員免許状取得	46
気象警報等による授業の休講	9	2018年度入学生 教育職員免許状取得	51
聴講票	10	□短期大学部 専攻科	57
単位の基準	11	短期大学部専攻科履修方法	58
履修科目の登録	12	本学ポータルサイト「Active Academy」	
試験	12	Web 履修登録の手順	60
学習の評価と GPA 制度	16	Web レポート提出の手順について	75
単位の授与	17	Web 出欠登録の手順について	77
成績通知	18	Q & A	79
履修登録	19		
単位の認定	22		
科目等履修生	26		
女子美術大学芸術学部 3年次編入学について	27		
短期大学部専攻科について	29		

表紙デザイン：DESIGN ROOM

北井 陽菜

デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻

〈CONCEPT〉

模様のように見える記号の中に「ジョシビ」の文字が隠れています。履修の手引きを通じて、宝探しをするようにひとりひとりが自分にぴったりの道を見つけ出せますようにという願いを込めて制作しました。

建学の精神

「女子美」の名で知られる本学園は、女性に対して高等教育機関における美術教育への門戸が開かれていなかった明治33（1900）年に、「**芸術による女性の自立**」、「**女性の社会的地位の向上**」、「**専門の技術家・美術教師の養成**」を目指して、美術教育をおこなう学校として創立しました。

以後、今日までの110有余年にわたる長い歴史の間に、画壇・デザイン界をはじめ、教育界などあらゆる分野に優れた人材を輩出するとともに、社会で自立できる女性たちを送り出してきました。

現代においても、知性と感性と技能を併せもち、美術の専門を活かして社会的、経済的に自立できる人材の育成を、下記の教育理念のもとにおこなっています。

短期大学部 造形学科 カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

共通科目

共通科目は、A群～E群として多彩な科目を開設しています。それらは大学生としてだけでなく、社会人としても通用する思考と鋭敏な感性を身につける場として位置づけています。

各群は、それぞれ知性と感性を高める科目群（A群）、コミュニケーション能力を高める科目群（B群）、こころと身体の健康を高める科目群（C群）、文化・芸術の科目群（D群）、自己を見つめ社会への視野を開く科目群（E群）の5つから構成されています。

自分の興味や関心に従って、主体的に科目を選択し、バランスよく学ぶことで、それらの科目の背後にある豊かで多様な学問的視点や知見を学び取り、専門教育に偏らない教養豊かな人材の育成を目指しています。

専門科目

専門科目は現代の多様化する美術、デザインの表現領域を多角的に捉えたカリキュラムとなっており、本人の実技体験を通して、専門分野を絞り込むことができる選択制を取り入れています。

1年次前期は専門科目を限定せず、18種類の科目から4科目を自由に選択します。美術、デザインの基礎を学ぶとともに、自己の表現の幅を広げることを目的としています。

1年次後期からは前期の体験をもとに美術コース、デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース）の各領域を選択、より専門性の高い知識や技術を集中的に修得しながら、自らの発想を表現することを学びます。

2年次後期はそれまで培った知識、技術、表現力を基にした卒業作品を制作します。卒業制作では2年間の集大成として自己の発想、表現の可能性を追求し作品として成立させること、そして社会に対して発表することを学びます。

短期大学部 造形学科 ディプロマポリシー（学位授与の方針）

- ・社会人にふさわしい教養、考え方を身につけたか。
- ・美術、デザインの専門能力を修得し、広い視野と洞察力によって独自の発想を表現することができるか。
- ・自らの創作について、他者に伝えるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたか。
- ・美術、デザインの活動を通して、広く社会に貢献できる能力を身につけたか。

主要日程

4月	
1	月
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土
28	日
29	月
30	火

5月	
1	水
2	木
3	金
4	土
5	日
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土
26	日
27	月
28	火
29	水
30	木
31	金

6月	
1	土
2	日
3	月
4	火
5	水
6	木
7	金
8	土
9	日
10	月
11	火
12	水
13	木
14	金
15	土
16	日
17	月
18	火
19	水
20	木
21	金
22	土
23	日
24	月
25	火
26	水
27	木
28	金
29	土
30	日

7月	
1	月
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土
28	日
29	月
30	火
31	水

8月	
1	木
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金
24	土
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木
30	金
31	土

9月	
1	日
2	月
3	火
4	水
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月

※祝日ですが2019年度は通常授業を行います。

10月	
1	火
2	水
3	木
4	金
5	土
6	日
7	月
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土
27	日
28	月
29	火
30	水
31	木

(即位礼正殿の儀) 22日

(体育の日) 14日

女子美祭週間 25日~27日

創立記念日 29日

11月	
1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土

(文化の日) 3日

(振替休日) 4日

(勤労感謝の日) 23日

12月	
1	日
2	月
3	火
4	水
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月
31	火

冬期休業 (~1月4日) 27日

1月	
1	水
2	木
3	金
4	土
5	日
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土
26	日
27	月
28	火
29	水
30	木
31	金

(元日) 1日

授業再開 6日

(成人の日) 13日

振替授業日 (月曜授業) 16日

集中補講日 21, 22, 23, 24日

後期授業終了 27日

春期休業 28日

2月	
1	土
2	日
3	月
4	火
5	水
6	木
7	金
8	土
9	日
10	月
11	火
12	水
13	木
14	金
15	土
16	日
17	月
18	火
19	水
20	木
21	金
22	土
23	日
24	月
25	火
26	水
27	木
28	金
29	土

(建国記念の日) 11日

(天皇誕生日) 23日

(振替休日) 24日

東京五美術大学連合卒業・修了制作展予定 20日

3月	
1	日
2	月
3	火
4	水
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月
31	火

学生選抜作品展 JOSHIBION2019(卒展) 2日

大学院修了制作作品展 9日

合同学位・修了証書授与式 12日

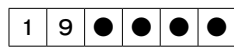
(春分の日) 20日

大学・短大卒制展

学籍コード

入学から卒業に至るまでシステム処理上の不変コードとして使用されるもので、頭2ケタが西暦下2ケタの入学年度となっています。学生証は身分証明書であり、試験や履修登録等で使用するのので、常時携帯してください。

例：2019年度入学生



この番号が学籍コードです

出席番号

出席番号については入学時に配付されたアカウント通知書で確認してください。出席番号は試験答案やレポート、聴講票、その他諸届に所属、年次とともに記入することになりますので間違いのないようにしてください。

例. 1年 53番

▶▶▶ この番号が出席番号です。

本学ポータルサイト「Active Academy」

本学は履修登録やシラバス閲覧、休講連絡、大学・研究室・授業担当教員から皆さんへの諸連絡のため、本学ポータルサイト「Active Academy」（以後、「ポータルサイト」と記載）を用意しています。ポータルサイトは学内外を問わず、アクセス・利用することが可能です。利用方法については、P.60以降に記載しています。

授 業

1. 授業時間

<杉並キャンパス>

第1時限	9:00~10:30	2年次専門科目時間帯(造形学科) (実技時間帯)
第2時限	10:40~12:10	
第3時限	13:00~14:30	1年次専門科目時間帯(造形学科) (実技時間帯)
第4時限	14:40~16:10	
第5時限	16:20~17:50	
第6時限	18:00~19:30	*資格関連科目のみ

- 専門科目時間帯(実技時間帯)は各専門科目を行います。
- 専門科目時間帯(実技時間帯)は月~金曜日です(1年次は水曜日を除く。2年次は土曜日も含む)。

2. 休 講

授業担当教員の都合等により休講する場合は、休講掲示板に掲示するとともに、履修者にポータルサイト等にて告知します。

※休講掲示・告知がなく30分経過しても授業担当教員が来ない場合は、休講措置をとることがありますので教育支援センターに問合せてください。

3. 補 講

補講は、突然の休講などで延期されていた授業を、後に実施する授業のことで、その授業を履修している学生は出席する必要があります。

原則、休講分の授業については、補講期間に補講を実施します。補講の日程については掲示にて告知します。(掲示は前期:7月上旬頃、後期:12月上旬頃を予定)

補講日程はポータルサイトのトップ画面のMy Scheduleには反映されません。(通常の授業日のスケジュールが表示されています。)

集中補講日の時間割については、必ず別途掲示を確認してください。

4. 欠席の扱い

欠席理由により、公欠扱いとなる場合、公欠扱いとならない場合があります。以下の表を参照し、手続きを行ってください。なお、表に記載された以外の理由については全て「欠席」となります。

公欠…該当する授業の回数と欠席回数を公欠回数分減らす措置です。
 欠席を出席扱いにするものではありません。
 例：半期 15 回の授業で教育実習で 3 回欠席し、それ以外は全て出席した場合、12/12 回（出席回数 / 出席すべき授業回数）となります。

欠席理由	公欠扱い	手続き方法
①教育実習	○	掲示や事前指導の指示に従ってください。
②介護等体験	○	
③博物館実習	○	
④古美術研究(芸術文化専攻のみ)	○ ^{注1}	
⑤裁判員制度に伴う裁判参加	○	「裁判員等選任手続期日のお知らせ(呼出状)」の発行日から14日以内に、コピーを持参の上、教育支援センターに申し出てください。また、事後手続きとして、公判終了日から7日以内に、裁判所が発行する証明書を教育支援センターに提出してください。
⑥インターンシップの一部	△ ^{注2}	
⑦忌引き	×	次回授業の際、会葬礼状等の日時がわかるものを持参の上、各授業担当教員に報告してください。
⑧学校保健安全法 感染症の予防に関する規則 第19条により出席停止	○	※下記【「学校保健安全法施行規則(感染症の種類)第18条」第一・二・三種疾患について】参照の上、手続きを行ってください。

注1) 授業期間に実施した場合のみ。

注2) 教務部長が特別に認めたもの(大学が認めた海外インターンシップ等)のみ公欠の対象とします。

⑧【「学校保健安全法施行規則(感染症の種類)第18条」第一・二・三種疾患について】

以下の疾患に該当すると医師の診断を受けた場合は、手続きが必要になります。

対象疾患：

第一種	治癒するまで入院治療が必要。 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、中東呼吸器症候群(MERS)、特定鳥インフルエンザ
第二種	飛沫感染する感染症で、生徒の罹患が多く、学校で流行しやすい。 インフルエンザ、麻疹(はしか)、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、百日咳、咽頭結膜熱(プール熱)、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第三種	経口感染症とその他学校で流行しやすい感染症。 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症(O157等)、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症[溶連菌感染症、手足口病、伝染性紅斑、マイコプラズマ異型肺炎、流行性嘔吐下痢症(ウイルス性胃腸炎)、ウイルス性肝炎、伝染性眼疾患、伝染性皮膚疾患]

(手続き方法)

1. 医務室に連絡

相模原キャンパス医務室：電話 042-778-6734

杉並キャンパス 医務室：電話 03-5340-4571

※登校支障期間中に試験やレポート提出がある場合、追試験、追レポート対象となる科目もありますので、以下にお問い合わせください。

教育支援センター相模原グループ：電話 042-778-6613

教育支援センター杉並グループ：電話 03-5340-4508

2. 「登校許可書」提出

治癒して登校する場合には、本学所定書式「登校許可書」を担当医に記入いただき、医務室へ提出してください。受診先の文書書式(感染症が治癒し感染の可能性の無い事、及び登校支障期間を明示した文書)でもかまいません。

「登校許可書」は本学ホームページからダウンロードしてください。

※欠席の証明についてはこの登校許可書で行いますので、それ以外の診断書等は不要です。

3. 「公欠願」提出

感染症第一種～第三種に該当の場合は公欠となります。「公欠願」は教育支援センターにて手続きしてください。用紙は本学ホームページからダウンロードできます。

気象警報等による授業の休講

【杉並キャンパス】

気象庁より、23区西部に「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」の気象警報が発表された場合は以下のように取り扱います（注意報は該当しません）。

- ・午前6時の時点で発表されている場合は、午前の授業を休講とする。
- ・午前10時の時点で発表されている場合は、午後の授業を休講とする。

【休講の確認方法】

上記やその他の事由により授業を休講する場合は、以下にて告知しますので確認してください。

- ・学内掲示板
- ・本学ホームページ
- ・ポータルサイト
- ・本学代表電話 <杉並キャンパス> 03-5340-4500

聴講票

授業の出欠席については、授業中に聴講票等が配られますので、必要事項を記入の上、担当教員に提出してください。

なお、聴講票には「聴講票」と「マークシート式聴講票」の2種類があります。以下に記入方法を記載していますので、確認してください。

注) 教員によっては、聴講票以外での出欠席の確認があります。その場合は担当教員の指示に従ってください。

また、この他に、パソコン・タブレットまたはスマートフォン端末を利用した出席確認を行う授業があります。操作方法については、該当授業の初回に説明します。

※詳細は、P.77の「Web出欠登録の手順について」を参照してください。

聴講票の記入例

聴講票		
〇〇年△△月××日		日付けを記入
火 曜日 第 3 時限		授業の曜日・時限を記入
科目	哲学	授業科目名・担当教員
担当	〇〇先生	
大学院	研究領域	所属を記入 短期大学部造形学科1年前期はコース名記載不要 付属高校生、科目等履修生等はここに記入
学部	表現領域	
短期大学部 造形学科	デザイン コース	
専攻科	コース	
その他()		
氏名	女子美 花子	出席番号 付属高校生、科目等履修生等は記入不要
年次号	2年次 300番	

女子美術大学
女子美術大学短期大学部

マークシート式聴講票の記入例

①～⑤は間違いなく、必ず記入してください。

記入漏れや間違いがあった場合、出席として扱われないことがあります。

<表> SN-0086		<裏>	
①日付	年月日 → 〇〇年△△月××日	学籍コード (6桁)	0 1 2 3 1 2
②科目名	科目名 → 哲学	注)間違えて出席番号を記入しないこと。	
③学生氏名	氏名 → 女子美 花子		
備考		⑤マークを塗る	
		マークの塗りつぶしは、左詰め、右詰め、どこから始めても大丈夫です。間違えた場合はきれいに消してください。	
			遅刻 早退 公欠

単位の基準

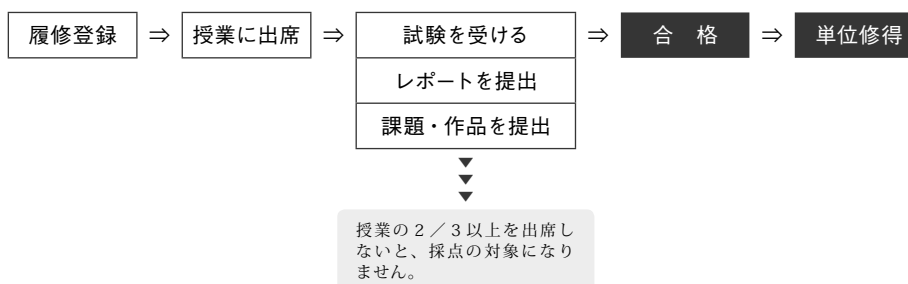
各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準により計算されます。なお、授業は前期15週、後期15週の通年30週とし、時間割の1時限は正味90分ですが単位計算上は2時間として計算しています。

講義	15時間の授業をもって1単位とする
演習	15～30時間の授業をもって1単位とする
実技・実習	30～45時間の授業をもって1単位とする

<単位のしくみ>

単位 (1単位=45時間の学修)	=	授業	+	自学自習 (予習・復習・課題等)
(例) 4単位の講義 (180時間)	=	30コマの授業 (60時間)	+	60コマ分の自学自習 (120時間)
2単位の講義 (90時間)	=	15コマの授業 (30時間)	+	30コマ分の自学自習 (60時間)
2単位の演習 (90時間)	=	15～30コマの授業 (30～60時間)	+	15～30コマ分の自学自習 (30～60時間)
2単位の实技 (90時間)	=	30～45コマの授業 (60～90時間)	+	0～15コマ分の自学自習 (0～30時間)

<単位修得の流れ>



履修科目の登録

1. 年度始めに配付された「時間割表」にもとづき、その年度に履修する授業科目すべて（一部の科目を除く）を、定められた期日までにポータルサイトで履修登録してください（P.19 参照）。
2. 履修する授業科目を選ぶ場合は、1 年次後期以降は自分の所属するコースに配当された授業科目の中から選んでください。他の授業を受講することはできません。
3. 共通科目のうち履修希望者が多い科目は、人数を制限することがあります。また必修科目等一部の科目を除き履修希望者数が 5 人未満の場合は、不開講となることがあります。
4. 1 年間に履修登録できる単位の上限は 1 年次 42 単位、2 年次 49 単位です（資格科目、共通科目 E 群「キャリア形成」(1 年次のみ。2 年次は履修上限単位に含む)「サービス・ラーニング」「インターンシップ A～D」「国際交流プログラム」、専攻科開設科目は除く）。

試 験

1. 試験の方法

試験には筆記試験、レポート・作品の提出などがあります。

2. 試験の時期

筆記試験は原則として各授業の中で実施します。そのほか、各学期末に授業担当教員の必要に応じ補講期間等に行う場合もあります。

レポートの提出による試験は、授業担当教員の指示で各授業内に提出する場合と、各学期末に指定された日時・場所に提出する場合があります。

作品の提出による試験はレポートの提出による試験に準じて実施します。

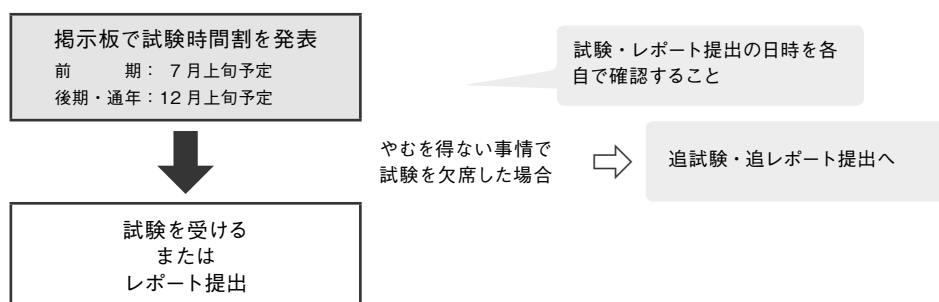
試験（筆記試験、レポート・作品提出）、補講、教室変更、その他試験に関する必要事項は掲示にて告知します。

3. 受験の資格

次に該当する学生は原則として受験資格がありません。

- ・無登録者（授業科目の履修登録をしなかった者）
- ・出席が授業回数の3分の2に満たない者
- ・授業料を無断で滞納している者

4. 試験の流れ



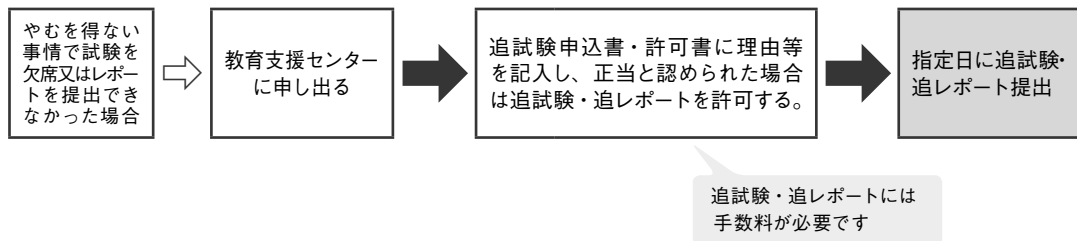
5. 追試験・追レポート

- ・次のa～gの理由またはその他のやむを得ない事情により、筆記試験を欠席した場合やレポート・作品提出日に提出できなかった場合、教育支援センターに追試験・追レポートを願ひ出ることができます。願ひ出が承認された場合、追試験を受験すること、レポート・作品を追レポートとして提出することができます。

追試験・追レポート受験のための理由
a 病気（診断書等を要する）
b 交通事故・遅延（相当証明書を要する）
c 冠婚葬祭（該当する催しの招待状等を要する）
d 就職試験（企業の証明を要する）
e 教員採用試験（教職課程の承認を要する）
f 公欠扱いとなるもの（教育実習・介護等体験・博物館実習など） P.8 参照
g 天災

追試験受験・追レポート提出が認められるか否かは、前もって教育支援センターで確認してください。試験日時の勘違い、寝坊等の本人の不注意や、アルバイト、旅行等の試験放棄は対象になりません。

- ・追試験・追レポートの申込み期間は掲示にて告知します。願ひ出る時は、試験を欠席した理由、レポート・作品を提出できなかった理由を確認できる証明書（上記のa～g参照）が必要です。期間終了後は、一切受け付けません。
- ・追試験・追レポートの願ひ出が承認された場合は、所定の手続きと定められた手数料（1,000円）を納入しなければなりません。公欠扱いとなる理由の場合、手数料は不要です。
- ・追試験の日時と試験場、追レポートの提出期限・提出場所については掲示にて告知します。



6. 再試験

- ・卒業年次の試験で、卒業に必要な科目・資格関連科目が不合格（D）の場合は、再試験を受けることができます。ただし、評価が採点不可（F）の場合は受験資格がありません。
- ・再試験の願ひ出は、前期8月初旬・後期2月初旬の一定期間に行うとともに、所定の手続きと定められた手数料（1,000円）を納入しなければなりません。期間終了後は一切受け付けません。
- ・再試験の日時と試験場は掲示にて告知します。

7. 試験（筆記試験、レポート・作品提出）に関する注意事項

〔筆記試験〕

- ・試験開始前に、「学生証」を机の上に提示してください。紛失したり忘れた場合は教育支援センターで「受験許可証」の発行を受け、受験してください。
- ・試験場では、筆記用具、許可された物品以外を机の上に置いてはいけません。ノートや参考書の使用を許可された場合も各自持参のものを使用し、互いの貸借は禁じます。
- ・遅刻者の扱いは、授業担当教員（試験監督者）の指示に従ってください。
- ・試験中に不正行為が認められた時は、教授会にはかり厳重に処分します。当該科目は採

点不可（F）とし、保証人に通知します。また教員免許状取得のための大学からの一括申請は行いません。

[レポート・作品提出]

- ・教育支援センターにて受け付けるレポート・作品については、「レポート提出票」を貼付し、定められた日時・場所に提出してください。
- ・レポート提出時に「レポート提出票の控」を受け取って成績が出るまで保管してください。
- ・レポートや作品を許可なく直接授業担当教員に郵送することは禁止です。
- ・ポータルサイトで提出するレポート・作品の提出方法については、P.75の「Webレポート提出の手順について」や、ポータルサイトのトップ画面に掲載されている「Webレポート提出マニュアル」を参照してください。
- ・教育支援センターではレポート・作品は所定の日時以外は受け付けません。提出期限に遅れた場合は「5. 追試験・追レポート」を参照し、手続きをしてください。
- ・レポートの提出方法は15ページの見本を参照してください。
- ・レポート作成にあたり、他人の文章（Webページを含む）を全部または一部でも出典を明示せずそのまま無断で借用することは剽窃（盗用）にあたります。Webページの文章を単にコピー・アンド・ペーストしてレポート作成しないよう注意してください。剽窃は、カンニング同様の不正行為とみなし、厳重に処分の上、当該科目は採点不可（F）になる場合があります。

レポート提出票の記入見本

1枚目 「レポート提出票」

「レポート提出票」
「レポートの表紙」
「レポートの本文」
全てまとめて
3箇所ホチキス

2枚目
「レポートの表紙」又は「レポート本文」

レポート提出票		杉並校舎・短大生	
2019年度		(前期) 後期・通年・集中	
科目名	生物学 (月曜日1時限)	教員名	杉並花子先生
造形学科	美術コース	学年	1年
専攻科	デザインコース	その他	
学籍番号	163230	出席番号	230
氏名	和田好美		

※枠内を黒のボールペンですべて記入してください。
記入に不備がある場合、成績をつけられないことがあります。

＜教育支援センター控＞ ★切り取らずに教育支援センターに提出してください。

2019年度		(前期) 後期・通年・集中	
科目名	生物学	教員名	杉並花子先生
造形学科		学年	1年
専攻科		氏名	和田好美
学籍番号	163230	出席番号	230

※本票は成績発表まで必ず各自保管してください。紛失した場合再発行出来ません。

＜学生控＞ ★切り取らずに教育支援センターに提出してください。

2019年度		(前期) 後期・通年・集中	
科目名	生物学	教員名	杉並花子先生
造形学科		学年	1年
専攻科		氏名	和田好美
学籍番号	163230	出席番号	230

短大1年生はピンク(卒業のハンコ無し)の用紙を使用してください。

短大2年生・専攻科生は卒業のハンコが押してあるピンクの用紙を使用してください。

単位互換生・科目等履修生・高校生は、履修科目が大学・短大のどちらかを確認し、大学の場合は紫(卒業のハンコあり)、短大の場合はピンク(卒業のハンコあり)の用紙を使用してください。

「生物学」

(月曜日1時限)

杉並花子

造形学科デザインコース

1年 90番 和田好美

15

学習の評価と GPA 制度

履修登録した科目の成績を5段階で評価し、それぞれに対して4～0のグレード・ポイント（以下、GPと表記）が付きます。GPA(Grade Point Average)とは、これらのポイントの1単位あたりの平均値になります。

※専攻科生はGPA制度は適用いたしません。

評価	評価基準	合否	GP
S	100～90点	合格	4
A	89～80点		3
B	79～70点		2
C	69～60点		1
D	59点以下	不合格	0
F	採点対象外(出席不良等)	採点不可	0

評価の基準・方法は試験の点数だけでなく、課題・レポート内容や受講態度等を含めた評価によります。評価基準は各授業科目ごとに異なるので、ポータルサイトの「シラバス」に掲載されている「評価方法」欄を十分確認してください。

※不合格(D)、採点不可(F)は、「成績通知」には表示されますが、「成績証明書」には表示されません。

GPAの種類は以下の通りになります。

学期GPA

- ・当該学期に成績評価された単位を対象として計算したGPA
- ・通年科目は後期に算出されます

通算GPA

- ・入学時から当該学期までに成績評価された単位を対象として計算したGPA

GPA計算方法（D・F評価も含めて計算します。）

学期GPA	=	$\frac{\text{学期毎で履修登録した科目の(単位数} \times \text{GP)の合計}}{\text{当該学期履修登録単位数}}$
通算GPA	=	$\frac{[\text{学期毎で履修登録した科目の(単位数} \times \text{GP)の合計}] \text{の総計}}{\text{総履修登録単位数}}$ ※入学時から当該学期まで計算

前期（前期開設科目のみで計算）

科目名	単位数	評価	GP	単位数×GP
●●ゼミ	2	S	4	2単位×4= 8
○○論	2	A	3	2単位×3= 6
□□概論	2	D	0	2単位×0= 0
△△演習	1	F	0	1単位×0= 0
①前期履修登録単位数→	7			②単位数×GPの合計→ 14

前期GPA = $\frac{\text{②(前期履修登録単位数)} \times \text{GPの合計} = 14}{\text{①前期履修登録単位数} = 7} = 2.00$

後期（後期・通年開設科目のみで計算）

科目名	単位数	評価	GP	単位数×GP
●●語I	2	B	2	2単位×2= 4
○○学	4	C	1	4単位×1= 4
□□論	2	D	0	2単位×0= 0
△△実技	1	F	0	1単位×0= 0
③後期履修登録単位数→	9			④単位数×GPの合計→ 8

後期GPA = $\frac{\text{④(後期履修登録単位数)} \times \text{GPの合計} = 8}{\text{③後期履修登録単位数} = 9} = 0.89$

通算GPA（入学時から当該学期まで計算）

通算GPA = $\frac{\text{入学時から当該学期までに履修登録した科目の(単位数} \times \text{GP)の合計} \text{ ②} 14 + \text{④} 8}{\text{総履修登録単位数} \text{ ①} 7 + \text{③} 9} = 1.38$

成績通知書 例

前期	後期	通算
2.00	0.89	1.38

GPA対象外科目

- ・ 認定科目（外国語検定資格、既修得単位認定、単位互換制度協定校提供科目等）
- ・ 卒業要件に含まれない科目（教職に関する科目）

一部の科目を除き、単位修得した科目を再履修する事はできません。

不合格・採点不可科目を再履修し単位修得した場合、当該科目の不合格、採点不可の際の単位については、総履修登録単位数から減算します。

単位の授与

授業回数の3分の2以上出席し、試験等の評価がC以上だった科目は合格とし、所定の単位を与えます。一部の科目を除き、単位修得した科目を再度履修することはできません（P.20〔複数履修できる科目〕参照）。

不合格（D）・採点不可（F）だった場合は、次期以降に再履修することができます。

成績通知

1. 成績通知

今年度履修科目の成績通知（成績・修得単位）は以下の時期に通知します。

	成績通知(前期科目)	成績通知(通年・後期科目)
1年次	9月後期授業開始日に配付	次年度4月のコース・分野別オリエンテーション時に配付
2年次・専攻科	9月後期授業開始日に配付	2月中旬の指定日(1月に掲示)に配付
保証人	保証人に年1回(5月頃を予定)、成績通知を送付します。	

※専門科目については、後期に通知しています。

2. 成績照会

成績はポータルサイトで確認できます。(P.61【メニューの機能】参照)

3. 採点調査願

「成績通知」に疑問がある場合は、成績評価が「D」または「F」の科目に限り、所定の期間に「採点調査願」を教育支援センター窓口で受け付けます。(期間を過ぎたものは受け付けません)

履修登録

1. 履修計画

どの科目を履修するかについては、卒業までのプロセスを自分なりに考え、授業科目を体系づけて計画することが必要です。また、教員免許状などの資格を取得する場合は、あわせて履修計画を立てなければなりません。

卒業に必要な単位数は62単位です。それを2年間で修得するために各自しっかり履修計画を立ててください。

各自の履修計画を立てるには、履修の手引、シラバス、授業時間割及びカリキュラムマップ・カリキュラムツリー（本学ウェブサイト掲載）を参考にするとよいでしょう。

履修や学修について相談したいことがあるときは、教育支援センターまでご相談ください。

2. 履修科目の登録方法

授業科目を履修するためには、その年度に履修する授業科目の全てについて、履修登録をしなければなりません。履修登録が完了しないと、授業を受講できないとともに単位が修得できません。

履修登録はポータルサイトでの手続きとなります。必ずWeb履修登録締切までに完了してください。

※Web履修登録の詳細については、P.60以降で使用方法を確認してください。ポータルサイトのログインページは「<https://aa.joshibi.net/>」です。

I 履修関係書類の交付

- ① 1・2年次とも4月のコース・分野別オリエンテーションに「履修の手引」「時間割表」を配付します。2年次生は「前年度の成績通知書」を配付します。
- ② 「時間割表」の訂正、教室の変更等は掲示にて告知します。掲示には十分注意してください。

II 履修計画の立案、決定

- ① 「履修の手引」「時間割表」およびポータルサイト「シラバス」、2年次生は「前年度の成績通知書」の単位修得状況を確認しながら、今年度の履修計画を立ててください。授業科目の授業内容については、ポータルサイトの「シラバス」を参照し、また各科目区分の「履修上の注意」もよく読み、間違いのないようにしてください。
- ② 専門科目時間帯（実技時間帯 P.7 参照）は各コース・分野の専門科目を履修するものとして履修登録し、その他の時限に「時間割表」を参照して、卒業必要科目から順に各自が希望する講義系科目を決定（履修登録）していきます。
- ③ 年次指定のある科目については必ず指定年次に履修してください。
- ④ 1年間に履修登録できる単位の上限は1年次42単位（資格科目・「キャリア形成」は除く）、2年次49単位です（資格科目は除く）。履修登録単位の上限については、時間割を参照してください。
共通科目E群「サービス・ラーニング」「インターンシップA～D」「インターンシップⅡA～D」「国際留学プログラム」については別途履修登録を行うので、ここでは登録する必要はありません。（履修上限単位には含みません）
- ⑤ 時間割上でコース・分野のクラス指定がされている授業科目は、自コース・分野のクラスを履修してください。再履修で認められた場合を除き、原則として他コース・分野のクラスは履修できません。

- ⑥ 原則として、専門科目時間帯（実技時間帯）に講義系科目を履修することはできません。卒業年次生については、卒業必要単位不足などの理由により一部専門科目時間帯（実技時間帯）の重複履修を認める場合もあるので、所属する研究室および教育支援センターに事前に申し出てください。

〔複数履修できる科目〕

同一科目名の授業科目が複数開講されていますが、1コマしか履修できません。また、年度が変わり、担当教員・内容が変更されても、過去に単位修得した科目である場合、再度履修することはできません。ただし、以下の科目区分、授業科目は複数履修することが可能です。

- ・ 共通科目B群 外国語コミュニケーション
同一科目名でも複数履修することが可能です。ただし、内容・教科書が同一の授業科目を2コマ以上履修することはできません。また、年度が変わっても、過去に単位修得した科目と内容・教科書が同一の授業科目である場合、再度履修することはできません。
- ・ 共通科目C群「スポーツ演習A～D」種目が異なれば（ウインタースポーツとボディメイク等）、卒業するまでにそれぞれ最大2単位修得することができます。
- ・ 共通科目E群「キャリア形成」「サービス・ラーニング」「インターンシップA～D」「国際留学プログラム」同一科目名でも複数履修することが可能です。また過去に単位修得した科目でも、年度が変わって再度履修することが可能です。

Ⅲ 抽選科目の登録（Web）※抽選科目の履修を希望される方のみ。

履修人数に上限がある授業科目は Web 抽選を行います。下記の抽選科目 Web 登録締切までにポータルサイトの「抽選授業希望登録」にて抽選授業の希望順位を登録してください（P.70 参照）。抽選科目は「時間割表」で確認してください。希望順位の登録は指定された順位まで、または指定された順位以内の登録が必要です。ポータルサイトの「シラバス」にて、履修したいグループの授業科目のシラバスをよく読み、あらかじめ登録する抽選授業を決めた上で登録してください。

抽選科目 Web 登録締切 4月11日（木） 14:00

- ※当選授業と同じ曜日・時限に履修登録した授業はエラーとなります。抽選科目を登録する場合は、抽選結果発表があるまで、ポータルサイトの「履修登録」にて曜日・時限の授業科目を登録しないでください。

抽選結果発表 4月12日（金） 10:30～

- ※抽選結果は、ポータルサイトの「授業抽選結果」にて発表されます。1グループ内で当選する授業は原則1つです。当選授業の一部は履修登録済となっており、ポータルサイト上での取り消し、履修訂正はできません。
- ※残席のある抽選科目は、ポータルサイトの「履修登録」から、登録することになり、履修登録を完了した方から、先着順で授業の定員まで登録されます。また、残席は他の学生の履修取消により変動します。
- ※抽選結果発表前にポータルサイトの「履修登録」にて登録した授業が、当選授業と曜日・時限が重複した場合、その授業はエラーとなりますので取り消してください。

IV WEB履修登録

- ① ポータルサイトの「履修登録」にて今年度に履修する全授業科目を登録してください。(P.60以降参照)
- ② 必修科目等の登録漏れがないかを各自で十分に確認の上、登録してください。特に、2年次生・専攻科生はその際に科目区分ごとの卒業所要単位も必ず確認してください。

Web履修登録締切 4月13日(土) 13:00

※ Web履修登録締切を過ぎると、作業途中であっても、履修登録ができなくなりますのでご注意ください。

③ 1年次生のみ

英語Ⅰの初回授業クラスについては4月15日(月)に学内掲示板を確認してください。初回授業にテストを実施し、その結果を元に習熟度別のクラスに編成されます。2回目以降のクラスについては授業前日までにポータルサイトと学内掲示板で発表しますので確認してください。

V 履修登録完了後

〔履修訂正〕

- ① Web履修登録締切後、4月18日(木)に履修届を受け取り、必修科目や卒業必要科目等の確認とともに、今年度履修する全授業科目を各自で再確認してください。訂正の必要がある場合は、履修訂正期間に所定の手続きを行ってください。
- ② 履修訂正の確認が終了した時点で今年度の履修科目が確定します。その後の履修科目の変更は、原則として受け付けません。

〔履修科目の中止〕

授業科目の履修にあたっては、十分検討のうえ決定するとともに途中で放棄するようなことがないように努めてください。授業科目の履修を中止する場合は「履修中止届」を教育支援センターに提出してください。「履修中止届」の提出がなく一方的に授業科目の履修を放棄した場合には、成績通知書に「F」(採点不可)と表示されます。D・F評価も含めて、GPAを計算するため、履修中止科目がある場合は、必ず所定の期間内に履修中止手続をしてください。

提出締切日：前期 5月31日(金) 後期 10月31日(木)

〔後期履修変更〕

下記の条件内で後期に履修科目の追加・変更を受け付けます。希望する学生は定められた期間内にポータルサイトで所定の手続きを行ってください。(ただし、抽選科目、履修者数により変更できない科目があります)

- 1年次 : 年間上限単位から前期修得単位を除いた単位数内
- 2年次・専攻科 : 卒業要件に必要な単位数

単位の認定

1. 入学時、既修得単位の認定・大学以外の教育施設等における学修の認定

本学入学以前に在学した大学、短期大学、高等専門学校専攻科および文部科学大臣が別に定める学修において修得した授業科目および単位の認定を希望する者は、前在大学等が発行した「成績ならびに単位修得証明書」または、外国語検定資格の技能審査等における学修成果の証明書を添付して「**既修得単位認定願**」を教育支援センターに提出してください。この手続きは入学時の定められた期間に限ります。

既修得単位の認定は、本学における共通科目とし、上限 30 単位の範囲で行います。

入学時に単位認定する学習の成果	必要書類
本学入学以前に他大学又は短期大学で修得した授業科目	「既修得単位認定願」と前在大学等が発行した「成績ならびに単位修得証明書」及び授業概要(シラバス) ※前在大学が本学の場合は上記書類は必要ありません。
外国語検定資格の技能審査等における学修成果(認定基準は下表参照)	「検定試験等による単位認定申請書」と「合格証書」または「スコアレコード」の原本

2. 「外国語検定資格の技能審査」による単位認定

本学への入学前または入学後在学中に、以下の外国語検定資格技能審査を受験した場合、その結果により、本学の共通科目 B 群の単位として認定します。「**検定試験等による単位認定申請書**」と「**合格証書**」または「**スコアレコード**」の原本を教育支援センターに提出してください。この手続きは 4 月・9 月の定められた期間に限ります。

<外国語検定資格技能審査の認定表>

○英語

認定科目名	認定単位数	実用英語技能検定	TOEIC ※	TOEFL (PBT) ※	TOEFL (CBT)	TOEFL (iBT)
英語 I	2 単位	2 級	470 ~	460 ~	140 ~	48 ~
英語 I + 英語 II	各 2 単位	準 1 級以上	730 ~	550 ~	213 ~	79 ~

※学内実施の TOEIC (IP) は TOEIC、TOEFL (ITP) は TOEFL (PBT) のスコアとして扱い、認定します。

○フランス語

認定科目名	認定単位数	実用フランス語技能検定
フランス語(初級)	2 単位	3 級
フランス語(初級) + (初級)	各 2 単位	2 級以上

●注意事項 <「外国語検定資格の技能審査」による単位認定>

- ・同一語学において複数の試験で基準を満たしていても、認められる単位数は表のとおりとします。
例えば、英検 2 級と TOEIC 470 点を満たしていても、英語 I を 2 つ (4 単位分) 認定することはしません。また、英検準 1 級と TOEIC 470 点を満たしている場合は、より上位の基準である英検準 1 級のみを適用し、「英語 I + 英語 II」(4 単位)のみ認定します。
- ・取得時期は、入学前・入学後のどちらも認めます。ただし、検定試験日より 2 年以内のものに限ります。
- ・学内で行われる TOEIC (IP)、TOEFL (ITP) の模擬試験(国際センター主催)のスコアも認めます。
- ・認定する単位数は共通科目 B 群とし、上限は 4 単位とします。

本学の開設科目を履修した上での修得単位数は、上記認定単位数とは別に共通科目の卒業所要単位数（24単位）に含まれます。

- ・ 母国語以外の検定資格のみを認定します。

願い出た授業科目および単位については、教授会にはかり教育上有益と認めたものについては、本学における共通科目で修得したものとして認定します。

入学前の既修得単位および本学で修得したものともみなす単位の上限は、30単位以内とします。

3. インターンシップ

インターンシップとは学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行う制度のことを言います。インターンシップ先が決まりましたらキャリア支援センターに報告してください。

[単位認定するインターンシップ]

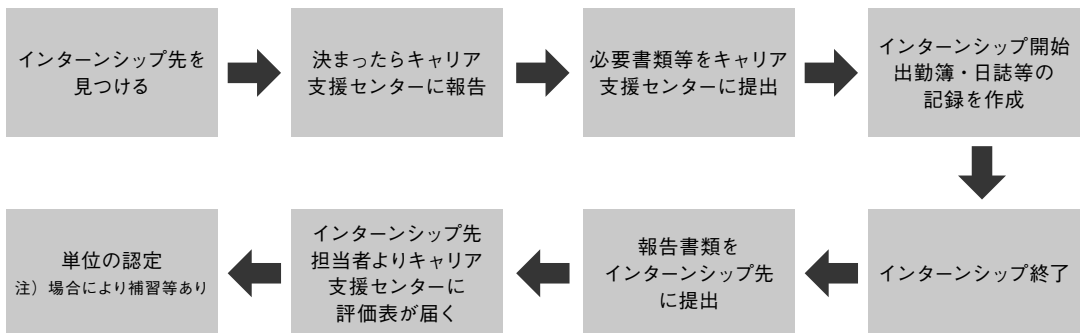
本学では主に夏期・春期休業期間を利用し、自分の専門分野に関連する企業の現場（或いはこれに類する場所）において、一定期間の実習（事前・事後指導を含む）を行うことで単位の修得が可能です（2年次春期休業中の実習は除く）。なお、修得する科目名称・単位数は実習期間に応じて異なります。

<単位認定の目安>

期 間	名 称	単 位
1週間の実習の場合	インターンシップA	1
2週間の実習の場合	インターンシップB	2
3週間の実習の場合	インターンシップC	3
4週間の実習の場合	インターンシップD	4

※認定単位数は、インターンシップ期間の実働時間によって、付与する単位数が変わります。

<単位認定するインターンシップの流れ>



4. 単位互換制度（対女子美術大学芸術学部単位互換）

平成13年4月から女子美術大学芸術学部と女子美術大学短期大学部（専攻科を除く）の単位互換制度を行っています。これにより、女子美術大学芸術学部の杉並校舎開設科目を履修することが可能です。

この単位互換制度は、教育課程の充実を図るとともに、学生皆さんの教育機会の拡大、特に幅広い視野の育成と学習意欲の向上を図ることを目的として実施されるものです。

○応募資格

短期大学部全学生（専攻科を除く）が対象。

○履修可能単位数

単年度では最大8単位まで履修可能です。

○単位認定

修得した単位は共通科目（A～E群）の卒業所要単位として認定します。

○履修できる科目

単位互換の趣旨に鑑み、短期大学部の共通科目（A～E群）の内、短期大学部のカリキュラムに開設されていない科目が単位互換の対象となります。資格科目など一部の科目は除きます。

履修の際は必修科目、実技科目等、短期大学部の勉学に支障のない範囲で、履修計画を立ててください。特に通年科目を履修する場合は、1年次後期より選択することになる各コース・分野の必修科目を視野に入れ、重複しないように注意してください。

○履修料

無料です。

○申込方法

短期大学部の開設科目と同様に、Web履修登録が必要となります。

※ Web履修登録の画面上、単位互換科目には識別のため科目名称の頭に「※」の印をつけています

なお、抽選科目については芸術学部優先となります。芸術学部の履修人数によっては履修を許可できない場合があります。

B群・外国語コミュニケーション科目は芸術学部の抽選終了後、残席がある場合のみ履修を認めます。

対女子美術大学芸術学部単位互換 開設科目一覧

	科目名	単 位	形 態	備 考		
学 部 共 通 科 目	A群	※文化人類学	2	講義		
		※法学	2			
		※政治学	2			
		※現代社会概説	2			
	B群	※イタリア語Ⅰ	2	演習		
		※イタリア語Ⅱ	2			
		※イタリア語Ⅲ	2			
		※ドイツ語Ⅰ	2			
		※ドイツ語Ⅱ	2			
		※中国語Ⅰ	2			
		※中国語Ⅱ	2			
		※フランス語Ⅱ	2			
		※フランス語Ⅲ	2			
		※日本語Ⅰ*1	2			
		※日本語Ⅱ*2	2			
		※比較文化論	2		講義	
		※言語学	2			
		C群	※精神保健		2	講義
	※心身医学		2			
	D群	※西洋美術史特論A	2	講義		
		※西洋美術史特論B	2			
		※日本美術史特論A	2			
		※日本美術史特論B	2			
		※東洋美術史特論	2			
		※現代美学	2			
		※芸術学	2			
		※日本近代美術論	2			
		※環境論	2			
※造形心理学		2				
※文化遺産学		2				
※ユニバーサルアート研究		2				
E群	※歴史の中の女性	2	講義			
	※女性と法	2				
	※芸術文化政策論	2				
	※国際芸術演習A	1	演習			
	※国際芸術演習B	1				

* 1…B群「日本語Ⅰ」は外国人留学生のみ履修可能。

* 2…B群「日本語Ⅱ」は外国人留学生のみ履修可能。

帰国子女の学生で履修を希望する場合は、事前に教育支援センターに相談してください。

科目等履修生

1. 科目等履修生

卒業後、本学の授業科目の履修を希望する者は、本学学生の修学に支障のない限りにおいて選考の上、科目等履修生となることができます。教職課程履修者等で所定の単位を在学中に修得できなかった場合、不足単位の履修も可能です。履修可能科目については教育支援センターに確認してください。申込期間は前期・通年科目は3月上旬、後期科目は6月下旬になります。

2. 研究生

短期大学部専攻科を修了し、さらに研究を続けたい者は研究生になることができます。願い出は1月中旬又は研究開始2カ月前までとなります。

女子美術大学芸術学部 3年次編入学について

芸術学部3年次編入学については、2年次生を対象に説明会を行います。日程は掲示でお知らせします。

1. 2019年度芸術学部3年次編入学入学定員

学科・専攻名	入学定員	学科・専攻名	入学定員	学科・領域名	入学定員
美術学科 洋画 日本画 立体アート 美術教育 芸術文化	14名	デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン プロダクトデザイン 環境デザイン 工芸	16名	アート・デザイン表現学科 メディア表現 ヒーリング表現 ファッションテキスタイル表現 アートプロデュース表現	10名

2. 編入学試験は、以下の2種類です。

- 女子美術大学短期大学部推薦入学試験：短期大学部の学内選考を経て推薦されます（専願）。
- 一般編入学試験

編入学試験の出願にあたっては出身の専攻分野は問いませんので、短期大学部の所属にかかわらず出願することができます。ただし、デザイン・工芸学科へ出願を希望する場合、編入学の専攻・コースと異なる分野出身者は編入後に芸術学部2年次開設の各専攻必修科目を履修する必要があるため、在学年が3年以上となる場合がありますので注意してください。また、デザイン・工芸学科に限らず、所属の分野と異なる専攻・領域の希望者は、出願前に説明会等で当該研究室の教授と面談し、編入学の後の修学について確認してください。

3. 単位認定

芸術学部を卒業するために必要な最低修得単位は、以下の124単位です。

	学部共通科目	学科専門科目	合計
美術学科 デザイン・工芸学科 アート・デザイン表現学科	30単位	94単位	124単位

女子美術大学短期大学部での修得単位は、以下の方法で認定されます。なお、認定の方法は、一部の科目を除いて包括認定です。

- *包括認定：本学芸術学部開設科目と短期大学部での履修科目の内容を特定することなく、既修得科目の単位数を本学芸術学部の単位として認定する方法です。認定された単位は、包括認定単位としてまとめて表示されます。

■単位認定方法

短期大学部の在学時の全修得単位から、大学の1・2年次開設 **学科専門科目** (①専攻・領域専門科目 ②学科共通科目必修科目 ③学科共通科目選択必修科目)、**学部共通科目** (上限28単位) の順で認定します。

学科専門科目

原則、1・2年次必修・選択必修科目の大部分を包括認定しますが、デザイン・工芸学科については、入学コースと異なる分野出身者は在学年が編入学後3年以上となる場合があります。また、編入学後に履修すべき科目として各専攻・領域が指定する一部の講義科目・演習科目については認定されません。編入学後に履修すべき指定科目は、説明会での配付資料で確認してください。これらの指定科目の履修方法については、編入学後に指導します。なお、次のとおり特定科目の修得者のみを認定する科目があります。

専攻・領域名	学部開設科目	短期大学部認定対象科目
ヴィジュアルデザイン	学科共通科目必修科目 「印刷概論」(2単位)	「記号論」(2単位)
プロダクトデザイン	学科共通科目必修科目 「デザイン図法」(2単位)	「図学」(2単位)
環境デザイン	学科共通科目必修科目 「環境デザイン概論」(2単位)	「空間デザイン概論」(2単位)

学部共通科目

学部共通科目E群必修科目「基礎学習ゼミ」2単位、C群2単位、B群「外国語コミュニケーション」2単位、A～E群の専攻・領域の1・2年次必修・選択必修指定科目は、包括認定単位数の中に含まれることとしますので、編入学後にあらためて履修する必要はありません。

資格関連科目

編入学生は2年間で卒業することが最優先となります。編入学後の履修計画や実習計画において無理が生じた場合は、卒業までの2年間では免許状又は資格を取得できないことがありますので、編入学後個別に相談してください。

教職に関する科目

大学で中学校1種および高等学校1種免許状を取得するためには、短期大学部において中学校2種免許状を取得していることを原則とします。短期大学部で修得した教職に関する科目は、免許法施行規則に定める科目区分に基づき、大学の教職に関する科目として認定します。

博物館に関する科目

学芸員養成課程については、編入学前の学修歴（既修得科目）と編入学後の本学での修得科目を合わせて学芸員資格の取得が可能です。

短期大学部専攻科について

1. 専攻科は短期大学部卒業生に対し、高度の技術と理論を探究させることを目的としており、修業年限は1年です。
2. 募集人員は各コースとも若干名です。
3. 募集についての説明会は、短期大学部2年次生を対象に行います。日程はその都度掲示します。
4. 専攻科は、1996（平成8）年4月1日から、「大学改革支援・学位授与機構」の認定専攻科となっています。

大学改革支援・学位授与機構による学位の取得について

1. 「大学改革支援・学位授与機構」について

- ① 「大学改革支援・学位授与機構」は国立学校設置法に基づき平成3年に設置された文部科学省管轄の機関です。このことにより、短期大学卒業生が科目等履修生として大学の単位を修得する等の方法により一定の学修を積み上げた場合、「大学改革支援・学位授与機構」の行う審査によって「学士」の学位を取得できることになりました。
- ② 「学士」の学位取得のためには「『積み上げ単位』の修得」と「『学修成果』の作成」「試験」が必要となります。「大学改革支援・学位授与機構」はこれらについて審査を行い、いずれもが可と判断された場合に合格とし「学士」の学位を授与します。合否については申請後6ヶ月以内に通知されます。
- ③ 「『積み上げ単位』の修得」とは短期大学卒業後、2年以上にわたって「大学」または「学位授与機構認定専攻科」等の開設科目を科目等履修生として62単位以上修得することを指します。
- ④ 「『学修成果』の作成」とはレポートまたは作品制作を指します。作品制作の場合は申請時に作品等の写真を提出することになります。
- ⑤ 「試験」とは「学修成果」をレポートで申請した場合は小論文試験、作品を提出した場合は作品持参の面接試験となります。

2. 専攻科在学中の単位修得について

- ① 本学の専攻科は平成8年に「大学改革支援・学位授与機構認定専攻科」となりました。このことにより専攻科で修得する単位全てが「学士」の学位取得のための単位（「積み上げ単位」）として申請できるようになりました。
- ② また、専攻科在学中に科目等履修生として女子美術大学の開設科目を無料で履修することができます。この単位も「学士」の学位取得のための単位（「積み上げ単位」）として申請することが可能です。
- ③ 「大学改革支援・学位授与機構」に関しては4月に専攻科進学予定者を対象に説明会を実施します。

3. 学修期間について

大学改革支援・学位授与機構における単位積み上げ型の学位授与の審査基準「学修期間：4年間、修得単位：124単位」は、大学設置基準に基づき設定しています。女子美術大学短期大学部造形学科卒業生が学位申請する際の学修期間・修得すべき単位についての条件、「造形学科卒業後、2年以上にわたって授業科目を履修した期間があり、62単位以上を修得すること」については、厳格に取り扱われます。ここで言う「2年以上」とは、最低1科目以上授業科目を履修している期間が通算して2年以上あることを指します。「授業科目を履修した期間」は、専攻科又は4年制大学に在籍する学生・科目等履修生としての期間です。

申請に際して学位授与機構は、在学証明書・科目等履修単位取得証明書等にて学修期間の合計が2年間以上あるか確認します。女子美術大学短期大学部専攻科に在籍する1年間だけで専攻科と大学科目等履修にて62単位修得しても学修期間2年間とは認められません。科目等履修期間が半期のみの場合、学修期間も半期分しかカウントできません。また、女子美術大学短期大学部専攻科と4年制大学科目等履修を平行して行った1年間を各1年、計2年としてカウントすることもできません。

4. 学位申請について

学位申請手順・修得科目要件等、学位申請に関して不明な点は、学位授与機構に電話にて問い合わせできます。学位申請は、個人と学位授与機構間で行うため、ご本人が申請前に申請要件等直接学位授与機構に確認してください。(電話番号については、ホームページを確認してください。)

大学改革支援・学位授与機構 学位に関する申請書類等

http://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryoku.html

短期大学部

造形学科

■教育の目標

学生の発想の幅を広げ、実社会での応用力を持った人材を育成します。

■学科の特長

幅広い専門科目と実技科目を置き、現代の多様化する美術、デザインの表現領域を多角的にとらえたカリキュラムとなっています。本人の体験を通して専門分野を絞り込むことができるように選択制を取り入れ、1年次前期は専門領域を限定しないことにより学生はさまざまな表現領域を体験することができます。この事により、後期以降各自が選択する専門領域において、前期に選択した実技経験を活かし個々の専門領域を見極め、より高度な知識・技術を集中的に習得することができます。

そして、卒業後は専攻科への進学や、芸術学部3年次への編入学の道も開かれています。また、芸術学部・短期大学部の間には単位互換協定があり、一部の授業は相互に履修することが可能になっています。

■カリキュラムの概要

1年次前期の実技科目は、18種類の科目から4科目を選択。個々が志す領域に直結した授業を選ぶことはもとより、あえて異なる領域の授業を履修することで自己表現の方法に幅を持たせることが可能となり、自分の個性を見つけ出す第一歩となります。

後期からは、前期で体験した授業を基に、美術コース・デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース）の中から選択し、より専門性の高い知識や技術を集中的に習得し、感性を磨いていきます。2年次後期からの卒業制作では、それまで培った知識や技術や表現力をもとに、自己の表現の可能性を探る大切な時間となります。それは2年間の集大成であるとともに、社会に出て活躍するための出発点でもあります。

卒業条件

本学を卒業するために必要な最低修得単位は次の通りです。
卒業を認定された者は、短期大学士（芸術）の学位が授与されます。

I 共通科目	A群	知性と感性を高める科目群	6単位以上	24 単位
	B群	コミュニケーション能力を高める科目群	2単位以上 <u>外国語科目2単位選択必修含む</u>	
	C群	こころと身体の健康を高める科目群	2単位以上	
	D群	文化・芸術の科目群	6単位以上	
	E群	自己を見つめ社会への視野を開く科目群	4単位以上 <u>基礎学習ゼミ2単位必修含む</u>	
II 専門科目	必修科目・選択必修科目			38 単位
卒業所要単位 合計				62 単位

本学では、十分な学習時間を確保するため、1年間で修得できる単位の上限を1年次42単位、2年次49単位としています。

なお、以下の科目は履修上限単位に含みません。

共通科目E群「サービス・ラーニング」「インターンシップA～D」「国際留学プログラム」
「キャリア形成※」、専攻科「臨床美術」、「インターンシップII A～D」資格科目

※1年次生のみ

履修登録の際は、総単位数の合計を越えないよう履修科目の調整をしてください。

共通科目（A群～E群）

共通科目は、短大生としてだけでなく、社会人としても不可欠な、広く一般常識をもってしっかりと思考する能力を身につけるための講義・演習科目群と、美術・デザインを専門とする学生が身につけるべき美術芸術科目群によって構成されています。知性と感性を含めた心的能力を高める科目群（A群）、コミュニケーション能力を高める科目群（B群）、こころと身体の健康を高める科目群（C群）、文化・芸術の科目群（D群）、自己を見つめ社会への視野を開く科目群（E群）の5つの群から構成されています。

学生の皆さんは、いったん自分の専門分野から離れ、各群の多彩な科目の中から、自分の興味関心にしたがって主体的に科目を選択し、それらの科目の背後に広がる多様な学問的視点や知見を学び取ることによって、学生としての基礎的教養力を自分のものにすることができるようでしょう。また、そうした能力を、努力し身につけることによって、自分の専門分野をさらに究め、飛躍していくための土台を築くことにもなるでしょう。

< A群～E群科目一覧 > P.37参照

A群 知性と感性を高める科目群

A群の科目は、学生がゆるぎない知的教養と鋭敏な感性を身につけ、さらにそれを磨くことができるよう、さまざまな分野のものの考え方や見方を提供することを目的としています。したがって、この群は、現代の文化・社会・科学にかかわる基本的学問によって構成されています。

A群は、選択の講義科目ですから、必要単位を上回る単位数をとることが可能ですし、自由に選択できる単位数の範囲内で履修することができます。

したがって、学生の皆さんが、自分の関心に基づいて自主的に科目を選択し、積極的に授業に参加することが期待されます。

B群 コミュニケーション能力を高める科目群

コミュニケーション論の学習は言うまでもなく、外国語学習やコンピュータ学習は、基本的なコミュニケーションを成立させるための必須のものです。外国語は外国人とコミュニケーションするための、また、異文化を知るための主要な手段ですが、直接外国人との接触に役立つものであり、外国語の独特の論理を知ることで、異質な論理、すなわち、異文化を知ることができます。

また、コンピュータはもはや言うまでもなく生活、仕事に欠かすことのできない必須のツールです。コンピュータ・リテラシーを身につけることで、生活、仕事におけるコミュニケーション能力を向上させることができます。

C群 こころと身体の健康を高める科目群

C群は、女性の心と身体に関する知識を深めることで、生涯を通して健やかで充実した生活を送り、QOL（生活の質）の高い日々を実現していくための基礎的な能力を養うことを目的としている科目群です。丈夫でしなやかな心と身体があればこそ、創作意欲も湧き、エネルギーあふ制作活動も可能です。また、ストレス社会といわれる現代において、自己実現を可能にするには、心身共に健康であることが大切です。そのために必要な知識と実践方法を身につけていきましょう。

開講科目と履修について

C群には、演習系科目の「健康科学」「スポーツ演習A～D」と、講義系科目の「子どもの保健・食・栄養」があります。

「健康科学」は、実技（運動）だけでなく講義も行う演習で、心身の健康に関する理論と具体的な実践方法を併せて学習することができます。

「スポーツ演習」は、実技（運動）を中心に、健康づくりのための具体的な実践方法を学ぶ演習です。取り組む種目や内容によってA～Dの4つに分けられていますので、詳細はシラバスを参照してください（A：球技系のスポーツ、B：競技性の低いレクリエーション系スポーツ、C：フィットネス系スポーツ、D：集中授業）。なお、スポーツ演習はアルファベットが同じでも種目が異なれば、2単位の修得が可能です。詳しくは本冊子の「履修上の注意」を参照してください。（P.38 参照）

抽選科目について

※演習系科目

「健康科学」「スポーツ演習」共に、履修申請した科目の希望者が定員を超えた場合は抽選が行われます。抽選に漏れた場合は空きのある科目にのみ再申請することができます。

※講義系科目

「子どもの保健・食・栄養」は講義系科目のため定員はありません。

評価について

「健康科学」「スポーツ演習」は、実技の技術レベルや上達度は全く関係ありません。全時間出席を前提とし、学習内容の理解度や授業への参加態度（学習意欲・積極性など）を重視します。やむを得ない理由での欠席は、「健康科学」は8回まで、「スポーツ演習」は4回までを限度とし（集中授業を除く）、この回数を超えて欠席をした場合は評価の対象となりません。

※講義系科目

「子どもの保健・食・栄養」は、授業回数の3分の2以上の出席の者を評価の対象とします。

		月	火	水	木	金	土		
1時限	前期		健康科学 小川 40名	スポーツ演習A ネット型 関口 45名		スポーツ演習B ニュー・スポーツ 鈴木 30名			
	後期			スポーツ演習B ニュー・スポーツ 関口 45名		スポーツ演習A ネット型 小川 30名			
2時限	前期		健康科学 山田 40名						
	後期								
3時限	前期					スポーツ演習C ストレッチ&ヨガ 山田 30名			
	後期					スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 山田 30名			
集中授業		スポーツ演習D ボディメイクa 小川・蛭間 他 10名 相模原キャンパス	スポーツ演習D ボディメイクb 小川・渡邊 他 20名 杉並キャンパス	スポーツ演習D ウインタースポーツ(スキー) 野澤・渡邊 他 15名 学外					

D群 文化・芸術の科目群

造形学科全コースの学生を対象に、それぞれの専門分野で応用可能な知識と能力を修得することを第一の目的に、文化・芸術に関わる以下のような性格をもった多彩な講義科目を配置しています。

1. 美術やデザイン、アートを学ぶ上でもっとも基本となる科目
2. 各コースの専門分野に共通するテーマ性を備えた科目
3. 各分野の専門性を深めるとともに視野を広げる科目
4. 創作活動のバックグラウンドとなる理論構築をサポートする科目

以上の枠組みを背景として構成されたこれらの科目の履修については、学生が自由に選択することで美大生にふさわしい幅広い“美術教養”を学修することはもちろんのこと、組み合わせによって専門性を高めることも可能です。

女子美生として自らをデザインするように、学生一人ひとりがその個性に合わせてカリキュラム作りを行ってください。（なおコースによっては、一部の科目を必修・選択必修として指定していますので注意してください。）

E群 自己を見つめ社会への視野を開く科目群

本学は1900年に「芸術による女性の自立」、「女性の社会的地位の向上」、「専門の技術家・美術教師の養成」を建学の精神として創立されて以来、これらの建学の精神に基づく教育を行ってきました。共通科目の中でこれを特に意識した科目群が、「自己を見つめ社会への視野を開く科目群」(E群)です。

この科目群には、現代社会において女性が家庭人、社会人、そして地球市民として今日の社会にどのような貢献をなすことが可能なのかを考える科目、社会や企業が求める環境・共生・文化を基盤とした地域社会貢献に関する科目などが準備されています。

今日、社会は基礎的・専門的な教養はもちろん、環境や共生などをキーワードに地域社会に貢献できる素養を求めはじめています。そのような素養を身につけるためには、美術に関する専門的な教養をもとに、自らが主体的に活動することが必要となってきます。このことを視野において、学生自らが参画する授業、共生社会と美術との学際的視点の涵養をめざします。

共通科目 開設一覧

	1年次			2年次			計	
	科目名	単位	形態	科目名	単位	形態		
共通科目	A群	哲学	2	講義	歴史学	2	講義	
		音楽	2		文学	2		
		△日本国憲法	2		生命科学	2		
		数理学	2					
		心理学	2					
		△教育原論	2					
		△教育心理学	2					
		保育原理	2					
	保育の心理学	2						
	B群	△英語 I	2	演習	△英語 II	2	演習	
		英会話	2					
		△フランス語(初級)	2					
		△コンピュータ入門A	2					
		△コンピュータ入門B	2					
	コミュニケーション論	2	講義					
	C群	△健康科学	2	演習				
		スポーツ演習A	1					
		スポーツ演習B	1					
		スポーツ演習C	1					
		スポーツ演習D	1					
	子どもの保健・食・栄養	2	講義					
	D群	△西洋美術史 A(美)	2	講義	△日本美術史 B	2	講義	
		△西洋美術史 B	2		色彩学演習	2	演習	
		△日本美術史 A(美)	2		△東洋美術史	2	講義	
		デザイン史	2		△美学概論	2		
		美術解剖学	2		現代美術論	2		
		図学	2		インテリア概論	2		
		色彩学	2		広告論	2		
		造形材料学	2		デザイン法令論	2		
		写真概論	2		C A D 演習	2	演習	
					写真実習	2	実技	
			記号論	2	講義			
E群	基礎学習ゼミ	2	講義	ジェンダーアート入門	2	講義		
	ジェンダー論	2		芸術と知的財産権	2			
	国際留学プログラム	2	演習	国際留学プログラム	2	演習		
	サービス・ラーニング	2		サービス・ラーニング	2			
	キャリア形成	2	講義	キャリア形成	2	講義		
	社会福祉学	2		インターンシップA	1		実技	
	児童家庭福祉学	2	インターンシップB	2				
	インターンシップA	1	実技	インターンシップC	3			
	インターンシップB	2		インターンシップD	4			
	インターンシップC	3						
インターンシップD	4							

△…教育職員免許状二種免許状(美術)を取得するための必修・選択必修科目。
 「英語I」「フランス語(初級)」「英語II」はいずれか必修。「コンピュータ入門A」「コンピュータ入門B」はいずれか必修。
 「西洋美術史A」「西洋美術史B」はいずれか必修。「日本美術史A」「日本美術史B」はいずれか必修。
 (1年次に美術コースに所属し、2年次にデザインコースに変更した場合は「日本美術史A・B」いずれも必修。)

(美) …美術コース必修科目

<履修上の注意>

B群

●外国語科目

卒業時に必要な単位数

外国語科目の卒業必要単位は2単位です。1年次に、外国語科目の中から最低1科目を履修してください。(外国語科目は演習科目・通年授業なので、授業1コマ=2単位となります。)

履修要領

外国語科目の授業は、原則、1クラス、定員30名(英会話は定員20名)で行います。

「英語Ⅰ」を履修する1年次の学生は、通常の履修登録画面から登録を行ってください。初回授業で実施する英語テストの結果から、自分の英語力にふさわしい英語Ⅰのクラスが指定されます。

「英語Ⅰ」以外の外国語については、Web抽選にて履修者を決定します。指定の期日までに、ポータルサイトで抽選希望登録をしてください。

日本語Ⅰ・Ⅱ

「日本語Ⅰ・Ⅱ」は外国人留学生のための科目であり、卒業に必要な外国語科目の単位として認められます。講義を聴いたり、レポートを書くのに役立つ科目ですので、外国人留学生はなるべく「日本語Ⅰ・Ⅱ」を履修するようにしてください。

なお、日本語Ⅰ・Ⅱについては女子美術大学単位互換科目 P.25 参照。

女子美術大学(杉並校舎)開設 外国語科目

女子美術大学・女子美術大学短期大学部単位互換制度(P.25参照)に基づき、女子美術大学(杉並校舎)開設の「中国語」「ドイツ語」「イタリア語」を履修することができます。女子美術大学学生の履修を先に確定し、残席がある場合のみ、4月12日(金)以降先着順にて履修を許可します。

C群

●「健康科学」を履修希望の場合

通年開設科目です。

後期に開設される専門選択必修科目と重複しないように注意してください。

◇ Web 抽選 (P.70 参照)

●「スポーツ演習」を履修希望の場合

前期・後期に各1科目、計2科目履修登録してください。

アルファベットが同じでも種目が異なれば同年次に修得することができます。

・履修人数に制限がありますので、Web抽選を行います。ポータルサイトで抽選希望の登録をしてください。抽選に漏れた場合は、空きのある科目にのみ再申請することができます。

・卒業年次で「スポーツ演習D(ウインタースポーツ)」を履修する場合、実施時期が後期授業終了後となるため、卒業要件単位は他科目で修得することを条件とします。なお、すでに、スポーツ演習D(スキー・スノーシュー)の単位を取得している者も履修可能ですが、未受講者優先の授業のためWeb登録はできません(Web登録できても無効)。再度、受講を希望する場合は、共同研究室(保健体育)に相談してください。

・スポーツ演習Dの「ボディメイクa」は相模原キャンパス、「スポーツ演習D(ボディメイクb)」は杉並キャンパスでの実施です。開講場所に注意してください。なお、この科目は種目が異なります。

◇演習系科目の抽選方法

Web抽選(4月11日(木)14:00まで)で履修時限が決定しますので、ポータルサイトで抽選希望の登録をしてください。

D群

● 「色彩学演習」

2年次に「色彩学演習」を履修する場合は、1年次で「色彩学」を履修しておいてください。

専攻科科目 科目等履修

- 平成31年4月1日現在で満22歳以上の造形学科生について専攻科選択科目の「臨床美術」（夏期集中講義予定）を科目等履修生として履修することができます。履修が決定した段階で約50,000円程度（テキスト代および資格認定費用等）別途かかります。「臨床美術」は単位修得と同時に「臨床美術士」5級資格を取得することができます。なお、修得単位は造形学科の卒業要件単位には含まれません。造形学科卒業後、専攻科に進学した場合は、既修得単位として専攻科の単位に認定します。希望者は履修登録期間中に教育支援センターにて申込手続きをしてください。

美術コース

ファイン・アート（純粋美術）の領域で、自己表現としてのモノ創りが主体となります。平面と立体の垣根を外し、古典技法から現代的表現まで幅広い学習をします。1年次後期より油彩、版画、日本画、塑造などを選択しながら、自らの表現スタイルの確立に向け模索していきます。

1. 教育の目標

自然から謙虚に学ぶことを根幹に置き、見ることと表現することの素晴らしさを追求します。それによって豊かな感性と確かな表現力を身につけるとともに、創作を通して豊かな情操を育成します。

2. 本分野の特長

平面と立体のジャンルにとらわれない、幅広い表現を経験することができます。課題は多くの選択制を導入し、さまざまな素材と技術、媒材や手段を学ぶことで、それぞれに適した表現を探求します。その上で、個性とオリジナリティを尊重した、それぞれの表現方法へと発展させます。

3. カリキュラムの概要

造形の基本となる学習を1年次では「美術」、2年次では「絵画」や「彫塑」を学び、見ることと表現することの本質的な意味を知ります。

「造形表現Ⅰ・Ⅱ」（Ⅰは1年次、Ⅱは2年次）では、様々な素材、技術を経験して表現の幅を広げます。また「造形研究Ⅰ、Ⅱ」（Ⅰは1年次、Ⅱは2年次）ではそれぞれの領域での深い追及をしていきます。

この様なかたちで、油彩、日本画、版画、彫塑など、さらに専門化した分野で応用や展開を学習して行きます。

1年後期では絵画、版画、彫塑の基礎を学び、2年前期からは、一つの領域を続けて深く学ぶことや、領域を横断しながら学ぶことができます。「卒業制作」ではこれまでの集大成として、それぞれの専門分野での表現を発展させ、個性やオリジナリティを持った制作に繋げていきます。

デザインコース

デザインとは、「ものづくり（ことづくり）」を通して新しい価値や仕組みを生み出し、より良い社会を創造する活動です。

デザインコースでは、「グラフィック」「メディア」「テキスタイル」「スペース」の4つから、専門分野が選択できます。

「グラフィック」は印刷媒体を中心としたヴィジュアルコミュニケーションを、「メディア」は映像・アニメーションをはじめとした多様な媒体表現を、「テキスタイル」は染・織の技術を学びながら暮らしの提案を、「スペース」は家具から都市までより良い生活空間を、それぞれの専門分野に特化した技術や表現力を身につけます。

1. 教育の目標

現代社会のさまざまな場面で、思考力や創造性を生かし幅広く活躍できるクリエイターやデザイナーを育成します。

2. 本分野の特長

一人ひとりの個性を大切にしながら、造形表現の基礎教育として感性を鍛えるトレーニングを積み重ね、既成概念にとらわれない自由な物の見方や発想力を習得します。

3. カリキュラムの概要

デザインの基礎となる発想方法やさまざまな表現力を習得する「デザイン基礎Ⅰ」、基本的なコンピュータソフトの使い方を習得する「コンピュータ実習」をデザインコース共通で学びます。

その後、「グラフィック」「メディア」「テキスタイル」「スペース」の4つの分野に別れ、「デザイン基礎Ⅱ」「デザイン表現Ⅰ」「デザイン表現Ⅱ」「デザイン表現Ⅲ」の実技体験を通して各専門分野の造詣を深め、豊かな創造力と表現力を培っていきます。

集大成としての「卒業制作」では、それまでの学びを活かし将来を見据えた創造に挑戦します。

専門科目

専門科目（38 単位履修のこと）

*印の科目は時間割表には表示していません。専門科目時間帯（実技時間帯）に行う授業科目であり、各コースのスケジュール表を参照すること。履修方法については、1年次前期の「基礎造形」に関しては、4月のガイダンスの指示に従ってください。1年次後期以降の実技に関しては、後期選択する分野の研究室の指示に従ってください。

1 年次前期

専門科目

必修科目（美術コース・デザインコース共通）

1年次前期			形態	計
科目名	単位			
* 基礎造形（人体デッサン）	2	18 科目から 4 科目選択	演習	10
* 基礎造形（油彩）	2			
* 基礎造形（観察描写）	2			
* 基礎造形（日本画）	2			
* 基礎造形（版画）	2			
* 基礎造形（テラコッタ）	2			
* 基礎造形（粘土による人体表現）	2			
* 基礎造形（陶）	2			
* 基礎造形（写真）	2			
* 基礎造形（デジタルデザインワーク）	2			
* 基礎造形（イラストレーション）	2			
* 基礎造形（ヴィジュアル表現）	2			
* 基礎造形（空間デザイン表現）	2			
* 基礎造形（映像）	2			
* 基礎造形（染）	2			
* 基礎造形（織）	2			
* 基礎造形（素材と光の工作）	2			
* 基礎造形（造形発想ワークショップ）	2			
造形概論	2		講義	

「基礎造形」18 科目の中から4科目を選択し、各2単位、計8単位を履修してください。選択した4種類の科目は、1年次前期の実技時間において、1種類につき3週間、計12週間の授業を行います。

1 年次後期～2 年次

美術コース

	1 年次後期			2 年次			計	
	科目名	単位	形態	科目名	単位	形態		
必修科目	*美術	2	実技	*造形研究Ⅱ	2	実技	24	28
	*造形研究Ⅰ	3		*造形表現Ⅱ	2			
	*造形表現Ⅰ	1		造形論	2	講義		
	西洋美術史A	2	講義	*卒業制作	6	実技		
	日本美術史A	2		共通プログラム	2	演習		
必修科目 択				*絵画	4	} 4 実技	4	
				*彫塑	4			

デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース）

	1 年次後期			2 年次			計	
	科目名	単位	形態	科目名	単位	形態		
必修科目	*コンピュータ実習	1	実技	*デザイン表現Ⅰ	2	実技	22	28
	*デザイン基礎Ⅰ	1		*デザイン表現Ⅱ	2			
	*デザイン基礎Ⅱ	4		*デザイン表現Ⅲ	2			
				*デザイン表現Ⅳ	2			
				*卒業制作	6			
				共通プログラム	2	演習		
選択必修科目	情報デザイン概論	2	} 2 講義	テキスタイルデザイン概論	2	} 2 講義	6	
	装飾デザイン概論	2		プロダクトデザイン論	2			
	空間デザイン概論	2		情報メディア論	2			
	染織概論	2						
	ニューメディア概論	2						
	環境演出論	2						

カリキュラムマップ（美術コース、デザインコース〔グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース〕）

到達指標

1. 社会人にふさわしい教養、考え方を身につけたか。
2. 美術、デザインの専門能力を修得し、広い視野と洞察力によって独自の発想を表現することができるか。
3. 自らの創作について、他者に伝えるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたか。
4. 美術、デザインの活動を通じて、広く社会に貢献できる能力を身につけたか。

★専門科目

開講時期	期	科目名	到達指標			
			1	2	3	4
1年次生	前期	基礎造形	○			
		造形概論	○			
	後期	美術		○		
		造形研究Ⅰ	○	○		
		造形表現Ⅰ	○	○		
		西洋美術史 A	○	○		
		日本美術史 A	○	○		
		コンピュータ実習		○	○	
		デザイン基礎Ⅰ		○	○	
		デザイン基礎Ⅱ		○	○	
		情報デザイン概論	○	○		
		装飾デザイン概論	○	○		
		空間デザイン概論	○	○		
		染織概論	○	○		
		ニューメディア概論	○	○		
		環境演出論	○	○		
2年次生	前期	造形論	○	○		
		共通プログラム	○	○		○
		テキスタイルデザイン概論		○		
		情報メディア論		○		
		絵画		○		
		彫塑		○		
		造形研究Ⅱ		○		
		造形表現Ⅱ		○		
		デザイン表現Ⅰ		○	○	
		デザイン表現Ⅱ		○	○	
	デザイン表現Ⅲ		○	○		
	デザイン表現Ⅳ		○	○		
	後期	プロダクトデザイン論		○	○	
		卒業制作		○	○	

★共通科目

開講時期	期	科目名	到達指標				
			1	2	3	4	
1年次生	前期	音楽	○				
		日本国憲法	○				
		教育原論	○				
		保育原理	○				
		保育の心理学	○				
		コンピュータ入門 B	○				
		スポーツ演習 A～C	○				
		デザイン史	○				
		図学	○				
		色彩学	○				
		造形材料学	○				
		写真概論	○				
		基礎学習ゼミ	○				
		社会福祉学	○				
		後期	哲学	○			
			数理科学	○			
	コミュニケーション論		○		○		
	スポーツ演習 A～D		○				
	子どもの保健・食・栄養		○				
	西洋美術史 B		○	○			
	美術解剖学		○				
	ジェンダー論		○				
	通年	キャリア形成	○		○		
		児童家庭福祉学	○				
		英語Ⅰ	○				
		英会話	○				
		フランス語（初級）	○				
		健康科学	○				
		国際留学プログラム	○				
		サービス・ラーニング	○		○		
	インターンシップ A～D	○			○		
	2年次生	前期	美学概論	○			
デザイン法令論			○				
CAD 演習			○	○			
記号論				○			
ジェンダーアート入門			○				
芸術と知的財産権			○				
後期		歴史学	○				
		文学	○				
		生命科学	○				
		日本美術史 B	○				
		東洋美術史	○				
		現代美術論	○				
		インテリア概論	○				
		広告論	○		○		
		写真实習	○	○			
		通年	英語Ⅱ	○			
			色彩学演習	○	○		

※ カリキュラムマップとは、到達指標が、どの授業科目でどのように達成されるかの相関関係を一覧表にしたもの

カリキュラムツリー（美術コース、デザインコース〔グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース〕）

	1年次				2年次												
	前期		後期		前期		後期										
専 門 科 目					共通プログラム												
	基礎造形 造形概論	→ 美術 コース	造形研究Ⅰ		造形研究Ⅱ	→	卒業制作										
			造形表現Ⅰ	→	造形表現Ⅱ	→											
			美術		絵画	→											
					彫塑	→											
			西洋美術史A		造形論												
		日本美術史A															
	基礎造形 造形概論	→ デザイン コース	コンピュータ 実習	→	デザイン 基礎Ⅱ	→	デザイン 表現Ⅰ	→	デザイン 表現Ⅱ	→	デザイン 表現Ⅲ	→	デザイン 表現Ⅳ	→	卒業制作		
			デザイン 基礎Ⅰ	→													
			情報デザイン概論	→	情報メディア論												
ニューメディア概論			→														プロダクトデザイン概論
空間デザイン概論			→														
環境演出論			→														
			装飾デザイン概論	→	テキスタイルデザイン概論												
	染織概論	→															
共 通 科 目	A群 知性と感性を高める科目群																
	B群 コミュニケーション能力を高める科目群																
	C群 こころと身体の健康を高める科目群																
	D群 文化・芸術の科目群																
	E群 自己を見つめ社会への視野を開く科目群																

※ カリキュラムツリーとは、短期大学部で掲げている教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ及び各授業科目のつながりを示したもの

教育職員免許状取得

今日、幼稚園から高等学校にいたる学校の教員になるためには、教育職員免許法の規定に従って、教員免許状を取得しなければなりません。

現在の教員養成制度では、教員養成を大学で行うことを建前としており、一般には教員養成を行うのに適当であると文部科学大臣が認定した「課程」を置いている大学で、所定の単位を修得したものに対して、所轄庁（都道府県の教育委員会）が教員免許状を授与するという制度になっています。

本学においても教員免許状の取得を希望する者は少なくありません。しかし、実際に教員になるためには、卒業に必要とされる科目の履修はもとより、教員としての固有の専門性を養うとともに、各教科を担当するにふさわしい教養を十分に積むことが求められています。

本学で取得できる教員免許状は、次のとおりです。

学 科	中学校教諭二種免許状
造形学科	美 術

教員養成専修プログラム

教員養成専修は、短期大学部入学後に美術コースやデザインコースの実技を学びながら、中学校教諭二種免許状（美術）の取得を目指し、卒業した後は中学校教諭（学部編入希望の方は中学校または高校教諭）になることを目標とする方を対象としたプログラムです。卒業後、教員になることを目指している方は、教員養成専修プログラムを履修してください。（「教員養成専修」を選択しない場合も中学校教諭二種免許状（美術）を取得する課程を履修することはできます。）

教員養成専修プログラム履修内容

中学校教諭二種免許状（美術）取得のための必修科目に加えて、より専門性の高い科目※を履修しつつ、小・中学校など学外での現場体験を積みみます。また教員採用選考対策のための自主的活動の場を設け、教員として必要な自己研修の力を身につけます。

※教職に関する科目（選択科目）・大学が独自に設定する科目 P.47・49 参照

教職課程の履修方法

免許状取得資格は「教育職員免許法」、「同法施行規則」に定める基礎資格および所要単位を修得したものに与えられ、その単位は教職に特有な専門性を養う目的で定められた「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教職実践に関する科目」、免許教科ごとに必要とされる「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、および「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」に分かれています。

所要資格 免許状の種類	基礎資格	大学における最低修得単位数					
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	第66条の6に定める科目
中学校教諭二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	12	6	6	7	4	8

（備 考）

各教科の指導法に関する科目及び教諭の教育の基礎的理解に関する科目等の大学における最低修得単位数については、当分の間その半数までの単位は当該免許状に係る教科に関する専門的事項に関する科目について修得することができます。（免許法第5条別表第1備考9）

教職課程の履修方法

- ・中学校教諭二種免許状（美術）を取得するためには卒業要件の単位修得に加え、以下の1～5の科目の単位修得や要件を満たす必要があります。
- ・本学4年制大学への3年次編入学希望者で一種教員免許状を取得する場合、原則として短期大学部において二種免許状を取得しておく必要があります。

1. 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分および最低修得単位数			本学で定める最低修得単位数			
科目	各科目に含める必要事項	単位数	開設学年	授業科目	単位数	
					必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	6(3)	1	教職概論	2	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		1	教育原論	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		1	現代教育論特講A		2
			2	現代教育論特講B		2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		1	教育心理学	2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		1	特別支援教育論	1	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		1	教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	6(3)	1	道徳教育論	2	
	・総合的な学習の時間の指導法		2	特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む）	2	
	・特別活動の指導法					
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		1	教育方法論	2	
	・生徒指導の理論及び方法		2	生徒指導論（進路指導含む）	2	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2	教育相談論	2	
教育実践に関する科目	教職実践演習	2	2	教職実践演習（中学校）	2	
	教育実習	5(3)	1	教育実習指導	1	
			2	教育実習A	2	
			2	教育実習B		2
計					24	6

（備考）

- (1) カッコ内の単位数は中学において「美術」の免許状を取得する者の修得すべき最低単位数です。（免許法第5条別表第1備考9）
- (2) 前項により「美術」の免許状取得にあたっては「教育実習B」の単位を欠くことができません。
- (3) 「教育実習」「教育心理学」は共有科目A群として卒業所要単位に含めることができます。それ以外の科目は教員免許取得のための独立した科目です。卒業要件には含まれないので注意してください。
- (4) 選択科目（6単位）は、原則教員養成専修学生のみ履修できます（教員養成専修学生以外の履修希望者については選抜します）。

- (5) 「教育実習」は大学における事前・事後指導と、都内外の中学校における現場実習によって単位を修得するため、周到な準備と相応の学力が要求されます。したがって、実習の前提条件として「教職に関する科目」を2年次前期までに修得することが必要となります。また数次にわたる対外折衝を経て実施される関係上、所定の手続を怠ることなく、大学の指示に必ず従ってください。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

各コース・分野に応じ、免許法施行規則に定める「各科目に含めることが必要な事項」ごとに決められた最低必要単位数を満たし、かつ、合計で12単位以上修得しなければなりません。（免許法施行規則第4条）

免許状の種類		中学校二種免許状（美術）					
科目区分	各項目に含めることが必要な事項	開設学年	本学で定める開設授業科目	単位数	形態	教職課程履修上の注意	最低必要単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	絵画 (映像メディア表現を含む。)	2	教職絵画	2	演習	必修	3
			絵画	4	実技		
			コンピュータ演習A※1	1	演習		
	彫刻	1	基礎造形(テラコッタ)	2	演習	いずれか1科目必修	2
			基礎造形(粘土による人体表現)	2	演習		
			教職彫塑	2	演習		
	デザイン (映像メディア表現を含む。)	1	コンピュータ実習	1	実技		3
			デザイン基礎I	1	演習		
	デザイン (映像メディア表現を含む。)	2	教職デザイン	2	演習	必修	3
			コンピュータ演習B※1	1	演習		
			CAD演習	2	演習		
	工芸	1	教職工芸	2	演習	必修	2
			美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	1	情報デザイン概論		
	装飾デザイン概論	2	講義				
	空間デザイン概論	2	講義				
	染織概論	2	講義				
	西洋美術史A※2	2	講義				
西洋美術史B※2	2	講義					
日本美術史A※2	2	講義					
日本美術史B※2	2	東洋美術史※2	2	講義	必修		
美学概論※2		2	講義	必修			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	2	美術科教育法A	2	講義	必修	2	

※1 科目の内容に映像メディア表現を含む。

※2 科目の内容に鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。

(備考)

- 専門科目一覧における卒業必修科目がすべて「教科及び教科の指導法に関する科目」として文部科学省から認定を受けている訳ではありませんので、履修については、間違いのないようにしてください。また、上記科目は、一般的・包括的な内容でなければならないと定められていますので、各分野ごとの事項に従い、網羅的に単位を修得しなければなりません。
- 「西洋美術史A」「西洋美術史B」「日本美術史A」「日本美術史B」「東洋美術史」「美学概論」は卒業要件となる共通科目D群に開設されています。
- 美術コースは1年次専門科目に「西洋美術史A」「日本美術史A」が含まれているので、「教科及び教科の指導法に関する科目」に充当します。
- 「基礎造形(テラコッタ)」「基礎造形(粘土による人体表現)」は専門科目の選択必修科目として開設されています。
- 「教職彫塑」「教職工芸」「教職絵画」「教職デザイン」「コンピュータ演習A」「コンピュータ演習B」は教員免許状取得のための独立した科目です。卒業要件には含まれません。

3. 大学が独自に設定する科目

「大学が独自に設定する科目」については、教員免許申請上最低4単位を履修しなければなりません。この4単位は、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」から余剰となる単位を充当することができます。

- ・「総合演習 A」「総合演習 B」は原則教員養成専修学生のみ履修できます。（教員養成専修学生以外の履修希望者については、選抜します）

	1 年 次		
	科 目 名	単 位	形 態
選 択	総合演習 A	2	演習
	総合演習 B	2	

4. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

法令上、教員の資質として必修が義務付けられている「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分についてふさわしい授業科目を割り当てています。

免許状の種類	中学校二種免許状				
免許法施行規制に定める科目区分	開設年数	本学で定める開設授業科目	単 位	形 態	教職課程履修上の注意
日本国憲法	1	日本国憲法	2	講義	必修
体育	1	健康科学	2	演習	必修
外国語コミュニケーション	1	英語 I	2	演習	いずれか 1 科目必修
		フランス語（初級）	2	演習	
	2	英語 II	2	演習	
情報機器の操作	1	コンピュータ入門 A	2	演習	いずれか 1 科目必修
		コンピュータ入門 B	2	演習	

5. その他の要件

介護等体験 7 日間（特別支援学校：2 日間、社会福祉施設等：5 日間）

平成 10 年 4 月 1 日からは教員の資質向上を図り、義務教育の一層の充実を図る観点から、障害者、高齢者に対する介護、介助、交流等の体験を行わせることを目的とする「介護等体験」（教育職員免許法の特例等に関する法律より）を 7 日間以上行うことが義務付けられています。本学においては原則 1 年次に実施します。

教育職員免許法の申請手続き等

教育職員免許法に定められた科目・単位を修得した者には、教員免許状が授与されます。教員免許状の申請は本来申請者が免許法に定める「基礎資格」および「所要単位」を修得した後、居住地の都道府県教育委員会（授与権者）に申請手続きをすることが建前となっています。

しかし東京都では、事務処理の都合から、都内に所在する大学を卒業する者が大学を通して一括申請する場合に限り卒業時に免許状を授与する制度をとっています（一括申請という）。一括申請は 1 年次 4 月の教職課程履修登録と同時の申し込みとなります。一括申請ができない場合（単位未修得等）は、卒業後各自で、居住地の教育委員会に申請することになります（個人申請という）。

免許状取得後

卒業後、教員免許状に係る事務はすべて授与権者である都道府県の教育委員会が行うこととなります。したがって、下記の事項については直接授与権者に申請してください。

- 免許状の書きかえ（改姓、本籍変更等）
- 免許状再交付（紛失等では再交付されない。盗難、火災による場合は証明書が必要）
- 免許状授与証明書

なお、「免許状の写し」が必要な時は、本人が免許状を両面ともにコピーし、提出すればよいことになっています。

教員採用選考

卒業後、公立学校の教員を希望する者は、都道府県および市の教育委員会で実施する公立学校教育職員採用選考を受験しなければなりません。

選考日は一定していませんが、多くは7月～8月に実施されています。詳細は各都道府県のホームページを参照してください。

なお、「美術」の教科については中学校教諭の免許状を有する者は、当分の間、美術を担当する小学校の教諭または講師になることができます。

教育職員免許状取得

今日、幼稚園から高等学校にいたる学校の教員になるためには、教育職員免許法の規定に従って、教員免許状を取得しなければなりません。

現在の教員養成制度では、教員養成を大学で行うことを建前としており、一般には教員養成を行うのに適当であると文部科学大臣が認定した「課程」を置いている大学で、所定の単位を修得したものに対して、所轄庁（都道府県の教育委員会）が教員免許状を授与するという制度になっています。

本学においても教員免許状の取得を希望する者は少なくありません。しかし、実際に教員になるためには、卒業に必要とされる科目の履修はもとより、教員としての固有の専門性を養うとともに、各教科を担当するにふさわしい教養を十分に積むことが求められています。

本学で取得できる教員免許状は、次のとおりです。

学 科	中学校教諭二種免許状
造形学科	美 術

教員養成専修プログラム

教員養成専修は、短期大学部入学後に美術コースやデザインコースの実技を学びながら、中学校教諭二種免許状（美術）の取得を目指し、卒業した後は中学校教諭（学部編入希望の方は中学校または高校教諭）になることを目標とする方を対象としたプログラムです。卒業後、教員になることを目指している方は、教員養成専修プログラムを履修してください。（「教員養成専修」を選択しない場合も中学校教諭二種免許状（美術）を取得する課程を履修することはできます。）

教員養成専修プログラム履修内容

中学校教諭二種免許状（美術）取得のための必修科目に加えて、より専門性の高い科目※を履修しつつ、小・中学校など学外での現場体験を積みます。また教員採用選考対策のための自主的活動の場を設け、教員として必要な自己研修の力を身につけます。

※教職に関する科目（選択科目）・教科又は教職に関する科目 P.52・54 参照

教職課程の履修方法

免許状取得資格は「教育職員免許法」、「同法施行規則」に定める基礎資格および所要単位を修得したものに与えられ、その単位は教職に特有な専門性を養う目的で定められた「教職に関する科目」、免許教科ごとに必要とされる「教科に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」、および「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」に分かれています。

所要資格 免許状の種類	基礎資格	大学における最低修得単位数			
		教科に関する 科目	教職に関する 科目	教科又は教職に 関する科目	第66条の6に 定める科目
中学校教諭 二種免許状	短期大学士の学位 を有すること。	10	21	4	8

（備 考）

この表の「教職に関する科目」について大学における最低修得単位数については、当分の間その半数までの単位は当該免許状に係る「教科に関する科目」について修得することができます。（免許法第5条別表第1備考9）

教職課程の履修方法

- ・中学校教諭二種免許状（美術）を取得するためには卒業要件の単位修得に加え、以下の1～5の科目の単位修得や要件を満たす必要があります。
- ・本学4年制大学への3年次編入学希望者で一種教員免許状を取得する場合、原則として短期大学部において二種免許状を取得しておく必要があります。

1. 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分および最低修得単位数			本学で定める最低修得単位数			
科目	各科目に含める必要事項	単位数	開設 学年	授業科目	単位数	
					必修	選択
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割	2	1	教職概論	2	
	・教員の職務内容（研修、サービス及び身分保障等を含む。）					
	・進路選択に資する各種機会の提供等					
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4(3)	1	教育原論	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		1	現代教育論特講A		2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		2	現代教育論特講B		2
			1	教育心理学	2	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	4(3)	1	教育課程論	2	
	・各教科の指導法		1	美術科教育法A	2	
			2	美術科教育法B		2
	・道徳の指導法		1	道徳教育論	2	
	・特別活動の指導法		2	特別活動論	2	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		1	教育方法論	2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	4(2)	2	生徒指導論（進路指導含む）	2	
	・進路指導の理論及び方法					
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2	教育相談論	2	
教職実践演習		2	2	教職実践演習（中学校）	2	
教育実習		5(3)	1	教育実習指導	1	
			2	教育実習A	2	
			2	教育実習B		2
計					25	8

（備考）

- (1) カッコ内の単位数は中学において「美術」の免許状を取得する者の修得すべき最低単位数です。（免許法第5条別表第1備考9）
- (2) 前項により「美術」の免許状取得にあたっては「教育実習B」の単位を欠くことができます。
- (3) 「教育実習」「教育心理学」は共有科目A群として卒業所要単位に含めることができます。それ以外の科目は教員免許取得のための独立した科目です。卒業要件には含まれないので注意してください。
- (4) 選択科目（8単位）は、原則教員養成専修学生のみ履修できます（教員養成専修学生以外の履修希望者については選抜します）。
- (5) 「教育実習」は大学における事前・事後指導と、都内外の中学校における現場実習によ

て単位を修得するため、周到な準備と相応の学力が要求されます。したがって、実習の前提条件として「教職に関する科目」を2年次前期までに修得することが必要となります。また数次にわたる対外折衝を経て実施される関係上、所定の手続を怠ることなく、大学の指示に必ず従ってください。

2. 教科に関する科目

各コース・分野に応じ、「免許法施行規則に定める科目」区分ごとに決められた最低必要単位数を満たし、かつ、合計で10単位以上修得しなければなりません。（免許法施行規則第4条）

免許状の種類		中学校二種免許状（美術）				
免許法施行規則に定める科目区分	開設学年	本学で定める開設授業科目	単位数	形態	教職課程履修上の注意	最低必要単位数
絵画 (映像メディア表現を含む。)	2	教職絵画	2	演習	必修	3
		絵画	4	実技		
		コンピュータ演習A※1	1	演習	必修	
彫刻	1	基礎造形（テラコッタ）	2	演習	いずれか 1科目必修 ※3	2
		基礎造形（粘土による人体表現）	2	演習		
		教職彫塑	2	演習		
デザイン (映像メディア表現を含む。)	1	コンピュータ実習	1	実技		3
		デザイン基礎I	1	演習		
	2	教職デザイン	2	演習	必修	
		コンピュータ演習B※1 CAD演習	1 2	演習 演習	必修	
工芸	1	教職工芸	2	演習	必修	2
美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	1	情報デザイン概論	2	講義		8
		装飾デザイン概論	2	講義		
		空間デザイン概論	2	講義		
		染織概論	2	講義		
		西洋美術史A※2	2	講義	いずれか 1科目必修	
		西洋美術史B※2	2	講義		
		日本美術史A※2	2	講義	いずれか 1科目必修	
	日本美術史B※2	2	講義			
	2	東洋美術史※2	2	講義	必修	
		美学概論※2	2	講義	必修	

※1 科目の内容に映像メディア表現を含む。

※2 科目の内容に鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。

※3 2017年度入学生は「教職彫塑」（2単位）または「基礎造形（粘土による人体表現）」・「基礎造形（テラコッタ）」（計4単位）いずれか選択必修。

（備考）

- (1) 専門科目一覧における卒業必修科目がすべて「教科に関する科目」として文部科学省から認定を受けている訳ではありませんので、「教科に関する科目」の履修については、間違いのないようにしてください。また、「教科に関する科目」は、一般的・包括的な内容でなければならないと定められていますので、各分野ごとの区分に従い、網羅的に単位を修得しなければなりません。
- (2) 「西洋美術史A」「西洋美術史B」「日本美術史A」「日本美術史B」「東洋美術史」「美学概論」は卒業要件となる共通科目D群に開設されています。
- (3) 美術コースは1年次専門科目に「西洋美術史A」「日本美術史A」が含まれているので、「教科に関する科目」に充当します。
- (4) 「基礎造形（テラコッタ）」「基礎造形（粘土による人体表現）」は専門科目の選択必修科目として開設されています。
- (5) 「教職彫塑」「教職工芸」「教職絵画」「教職デザイン」「コンピュータ演習A」「コンピュータ演習B」は教員免許状取得のための独立した科目です。卒業要件には含まれません。

3. 教科又は教職に関する科目

「教科又は教職に関する科目」については、教員免許申請上最低4単位を履修しなければなりません。この4単位は、「教科に関する科目」、「教職に関する科目」から余剰となる単位を充当することができます。

- ・「総合演習 A」「総合演習 B」は原則教員養成専修学生のみ履修できます。（教員養成専修学生以外の履修希望者については、選抜します）

	1 年 次		
	科 目 名	単 位	形 態
選 択	総合演習 A	2	演習
	総合演習 B	2	

4. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

法令上、教員の資質として必修が義務付けられている「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分についてふさわしい授業科目を割り当てています。

免許状の種類	中学校二種免許状				
	開設年数	本学で定める開設授業科目	単 位	形 態	教職課程履修上の注意
日本国憲法	1	日本国憲法	2	講義	必修
体育	1	健康科学	2	演習	必修
外国語コミュニケーション	1	英語 I	2	演習	いずれか 1 科目必修
		フランス語（初級）	2	演習	
情報機器の操作	1	コンピュータ入門 A	2	演習	いずれか 1 科目必修
		コンピュータ入門 B	2	演習	

5. その他の要件

介護等体験 7 日間（特別支援学校：2 日間、社会福祉施設等：5 日間）

平成 10 年 4 月 1 日からは教員の資質向上を図り、義務教育の一層の充実を図る観点から、障害者、高齢者に対する介護、介助、交流等の体験を行わせることを目的とする「介護等体験」（教育職員免許法の特例等に関する法律より）を 7 日間以上行うことが義務付けられています。本学においては原則 1 年次に実施します。

教育職員免許状の申請手続き等

教育職員免許法に定められた科目・単位を修得した者には、教員免許状が授与されます。教員免許状の申請は本来申請者が免許法に定める「基礎資格」および「所要単位」を修得した後、居住地の都道府県教育委員会（授与権者）に申請手続きをすることが建前となっています。

しかし東京都では、事務処理の都合から、都内に所在する大学を卒業する者が大学を通して一括申請する場合に限り卒業時に免許状を授与する制度をとっています（一括申請という）。一括申請は 1 年次 4 月の教職課程履修登録と同時の申し込みとなります。一括申請ができない場合（単位未修得等）は、卒業後各自で、居住地の教育委員会に申請することになります（個人申請という）。

免許状取得後

卒業後、教員免許状に係る事務はすべて授与権者である都道府県の教育委員会が行うこととなります。したがって、下記の事項については直接授与権者に申請してください。

- 免許状の書きかえ（改姓、本籍変更等）
- 免許状再交付（紛失等では再交付されない。盗難、火災による場合は証明書が必要）
- 免許状授与証明書

なお、「免許状の写し」が必要な時は、本人が免許状を両面ともにコピーし、提出すればよいことになっています。

教員採用選考

卒業後、公立学校の教員を希望する者は、都道府県および市の教育委員会で実施する公立学校教育職員採用選考を受験しなければなりません。

選考日は一定していませんが、多くは7月～8月に実施されています。詳細は各都道府県のホームページを参照してください。

なお、「美術」の教科については中学校教諭の免許状を有する者は、当分の間、美術を担当する小学校の教諭または講師になることができます。

■教育の目標

短期大学における大学院にあたり、少人数制で密度の濃い1年の課程によって学生ひとりひとりのキャリアに広がりとお行きを与えていきます。実践に即した専門的知識と高度な技術の習得を目指します。

■学科の特長

「大学改革支援・学位授与機構認定専攻科」となっているため、大学卒業と同等の資格「学士の学位」取得を目指す場合、専攻科で修得した単位をすべて学位申請用の単位とすることが可能です。また、現代の美術やデザインに求められる幅広い知識から、プレゼンテーションの技術等まで、社会に対応した実践的なスキルアップが可能な科目を設置しています。

■カリキュラムの概要

1年間、美術コース、デザインコースに分かれて実技を中心とした専門教育を行います。各コースにおける必修の専門科目のほか、共通の必修科目、選択科目を設置しており、共通の選択科目の中ではコースに関わり無く幅広い分野の様々な科目を履修する事ができます。

短期大学部専攻科履修方法

専攻科修了の資格を得るためには、必修科目 30 単位を修得しなければなりません。表中の*印の科目は、時間割表には「演習（実技）」と表示されていますので、履修方法については各研究室の指示に従ってください。

開設科目一覧

●共通選択科目

選 択 科 目	講義	演習	実技
企画・プレゼンテーション技法	2		
舞台美術表現	2		
保存修復学	2		
アニメーション論	2		
パブリックアート論	2		
美術館博物館学	2		
臨床美術	2		
古美術研究		2	
国際留学プログラム		2	
サービス・ラーニングⅡ		2	
インターンシップⅡA			1
インターンシップⅡB			2
インターンシップⅡC			3
インターンシップⅡD			4

1. 臨床美術

「臨床美術」（夏期集中講義予定）の授業を受け単位修得することにより「臨床美術士」5級の資格を取得することができます。

履修が決定した段階でテキスト代および資格認定費用等として別途費用（約 50,000 円程度）を事前に所定の期間に納入する必要があります。

また、単位のみ修得することはできませんので注意してください。

詳細については、杉並教育支援センターに確認してください。

2. インターンシップ

インターンシップとは学生が一定期間企業等において研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行う制度のことを言います。インターンシップ先が決まりましたらキャリア支援センターに報告してください。

[単位認定するインターンシップ]

本学では主に夏期・冬期休業期間を利用し、自分の専門分野に関連する企業の現場（或いはこれに類する場所）において、一定期間の実習（事前・事後指導を含む）を行うことで単位の修得が可能です（春期休業中の実習は除く）。なお、修得する科目名称・単位数は実習期間に応じて異なります。

●美術コース

必修・選択必修科目			講義	演習	実技
* 絵画Ⅰ	5	} 何れか		5	
* 彫塑Ⅰ	5				
* 絵画Ⅱ	5	} 何れか		5	
* 彫塑Ⅱ	5				
* 絵画演習Ⅰ	3	} 何れか		3	
* 彫塑演習Ⅰ	3				
* 絵画演習Ⅱ	3	} 何れか		3	
* 彫塑演習Ⅱ	3				
* 修了制作	6				6
造形特論A	2		2		
造形特論B	2		2		
現代造形論	2		2		
女性作家史	2		2		

●デザインコース

必修・選択必修科目			講義	演習	実技
* グラフィック表現演習	6	} 何れか		6	
* メディア表現演習	6				
* テキスタイル表現演習	6				
* スペース表現演習	6				
* 自由研究(グラフィック)	4	} 何れか		4	
* 自由研究(メディア)	4				
* 自由研究(テキスタイル)	4				
* 自由研究(スペース)	4				
* グラフィック表現研究	6	} 何れか		6	
* メディア表現研究	6				
* テキスタイル表現研究	6				
* スペース表現研究	6				
* 修了制作	6				6
デザイン論	4	} 何れか	4		
ソフトマテリアル論	4				
現代造形論	2		2		
女性作家史	2		2		

本学ポータルサイト「Active Academy」Web履修登録の手順について

■ポータルサイト基本事項

○ログインページ <https://aa.joshihi.net/>

* 「http」でなく「https」ですのでご注意ください。※携帯電話フルブラウザは非対応です。

○ユーザーID：学籍コード

○パスワード：別紙にて配付

* 上記パスワードで女子美Gmail、マイライブラリー（図書館ポータル）へログインができます。

○稼働時間 毎日7：30～翌2：00

○停止期間 毎日2：00～7：30はメンテナンスのため稼働しません

■履修登録

2019年度履修登録スケジュール		7:30	9:30	10:30	13:00	14:00	17:00	翌2:00
4月 6日 (土)	履修登録開始9:30～							
4月 7日 (日)								
4月 8日 (月)								
4月 9日 (火)								
4月10日 (水)								
4月11日 (木)	履修登録期間 抽選科目登録締切～14:00 ↑ 停止期間 ↓							
4月12日 (金)	抽選結果発表10:30～							
4月13日 (土)	履修登録締切～13:00 前期授業開始							
4月14日 (日)								
4月15日 (月)								
4月16日 (火)								
4月17日 (水)								
4月18日 (木)	履修訂正開始9:30～ ↑ 期間 ↓							
4月19日 (金)								
4月20日 (土)	↓ 訂正内容確認・最終訂正締切～13:00							

※網掛け部分はWeb履修稼働時間

* 接続の制限時間は30分です。30分以上検索や登録等がないと接続が終了されます。

履修登録中は制限時間間近になったら、検索・登録ボタンを押すなどしてください。

* ポータルサイトの利用を終了する時は、必ず「ログアウト」を押してください。

本学ポータルサイト「Active Academy」のログイン方法

①ポータルサイトのログインページの表示

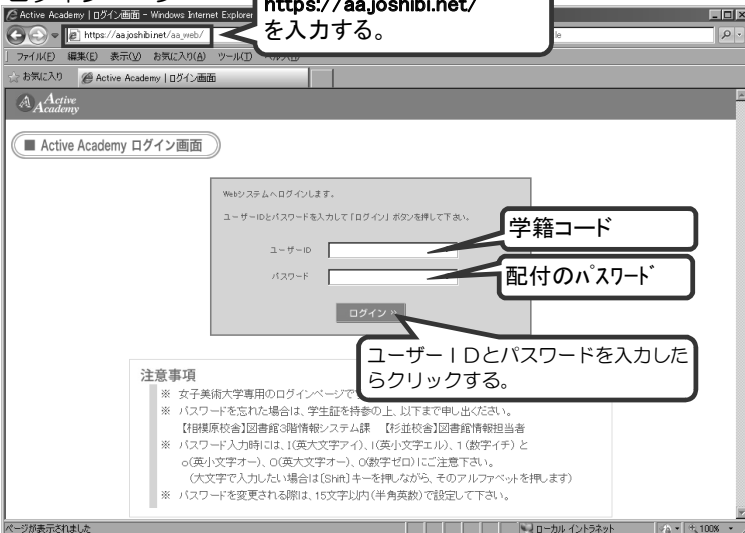
Internet Explorer、Chrome、Firefox、Safari等のブラウザを起動し、上記アドレスを入力し本学ポータルサイト「Active Academy」のログインページを表示してください。

②ログイン

ログインページが表示されましたら、注意事項とお知らせを確認してください。

ユーザーID及びパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

ログインページ



※Webシステムの制限事項

(1) 以下のブラウザについて動作確認を行っています。

- ・Microsoft Internet Explorer Ver.6.0.2800.1106 以上
- ・Firefox Ver.2.0.0.6 以上
- ・Opera Ver.9.21 以上
- ・Safari Ver.2.0.4 以上
- ・Google Chrome Ver.8 以上

(2) ブラウザの設定について、以下の設定を有効としてください。
ブラウザごとに設定が異なりますので、以下のURLをご参照下さい。

- ・Cookie <https://pr.toriaz.jp/navi/howto/860.html>
- ・JavaScript <https://support.google.com/adSense/answer/12654>

ポータルトップ画面とメニュー・機能一覧

ログインすると以下の画面が表示されます。

ここが自分の名前になっていることを確認してください。

Welcome ■■■さん! ここはあなたの Personal Page です。

TOP
このページです
掲示板
学年暦
個人へのお知らせ
連絡事項
休補講情報
リンク登録

授業支援
履修登録
通年授業履修中止申請
抽選授業希望登録
授業抽選結果
教員情報照会
レポート提出
シラバス (大学)
シラバス (短期大学)
シラバス (大学院)

就職活動支援
企業検索

MyInformation
プロフィール変更
パスワード変更
個人情報
女子美Gmail
アクセス終了
ログアウト

補講日の予定については、学内掲示板を確認してください。
(学部・短大1年次「基礎学習ゼミ」の予定についてはWebシラバス及び学内掲示板を確認してください。)

リンク集へ

My Schedule

日	月	年
2017/01/15(日)	2017/01/16(月)	2017/01/17(火)
2017/01/18(水)	2017/01/19(木)	2017/01/20(金)
2017/01/21(土)		

新しく予定を登録する
開始/集中補講 (終了/集中補講)

集中補

※教室表示については変更もありますので、掲示にも注意して下さい。

あなた宛の新しいお知らせが、 0 件あります。
▶ お知らせ一覧へ

新しい連絡事項が、 0 件あります。
▶ 連絡事項一覧へ

新しい休補講情報が、 0 件あります。
▶ 休補講情報一覧へ

あなた宛の新しいレポートが、 0 件あります。
▶ レポート一覧へ

【My Scheduleの機能】
履修している授業、学校のスケジュール、登録した予定等が表示されます。日・週・月単位に表示を変更することができます。
(授業教室変更の場合は掲示板でお知らせします。)

補講日程はポータルサイトのトップ画面のMy Scheduleには反映されません。
(通常の授業日にスケジュールが表示されています。) 集中補講日の時間割については、必ず別途掲示を確認してください。

【お知らせ・連絡事項の機能】
本学からあなた宛に配信された連絡が表示されます。メール配信が指定された連絡は、「プロフィール変更」のメインのメールアドレスに配信されます。

【休補講情報の機能】
あなたが履修登録した科目で休講連絡があったものが表示されます。メール送付が指定された連絡は、「プロフィール変更」のメインのメールアドレスに配信されます。

【レポート提出情報の機能】
あなたが履修登録している科目のうち、教員がポータル上でレポート提出の設定をした科目の情報が表示されます。

【メニューの機能】

■ 掲示板

学年暦

個人へのお知らせ

連絡事項

休補講情報

リンク登録

■ 授業支援

履修登録

通年授業履修中止申請

抽選授業希望登録

授業抽選結果

教員情報照会

レポート提出

シラバス

■ 就職活動支援

企業検索

■ MyInformation

プロフィール変更

パスワード変更

個人情報

女子美Gmail

■ アクセス終了

ログアウト

…携帯電話で利用できる機能

主な行事を確認できます。
お知らせが閲覧できます。
連絡事項が閲覧できます。
休補講情報が確認できます。
各自でリンク先を登録できます。

履修する授業を登録できます。
通年授業科目の履修中止ができます。(後期履修訂正期間)
抽選科目の希望登録ができます。
抽選結果が確認できます。
教員の情報を照会できます。(随時更新予定)
教員がポータル上で設定したレポートの提出及び提出状況の確認ができます。
シラバスを参照できます。

企業を検索できます。(随時更新予定)

プロフィールの参照、メールアドレスの設定及び変更ができます。
(メインのメールアドレスに休講情報等が転送されます)
パスワードを変更できます。
「登録されている個人情報」「成績表」「履修情報」「出欠情報」「就職情報」「GPA」(※2016年度以降の入学生)を確認することができます。
女子美Gmailのログイン画面が別が開きます。

ポータルサイトの利用を終了する時は必ず画面の「ログアウト」を押してください。

* 学生生活に必要な情報や授業に関する事柄を連絡していきます。
毎日必ず自分のポータル画面をご覧ください。

携帯電話で一部機能を使用できます。
ログインページ

<https://aa.joshihi.net/kei/>
※上記の表示画面を「Bookmark」や「お気に入り」などに保存してください。

※…携帯電話で利用できる機能
他に「時間割情報」等があります。
※携帯電話フルブラウザは非対応です。

■授業支援システム 《履修登録》

1、ポータル画面より、履修登録を起動します。

女子美術大学
JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

Welcome ■■■■さん! ここはあなたの Personal Page です。

TOP
このページです
掲示板
学年暦
個人へのお知らせ
連絡事項
休補講情報
リンク登録
授業支援
履修登録
通年授業履修中止申請
抽選授業希望登録
授業抽選結果
教員情報照会
レポート提出
シラバス (大学)
シラバス (短期大学)
シラバス (大学院)
就職活動支援

補講日の予定については、学内掲示板を確認してください。
(学部・短大)1年次「基礎学習ゼミ」の予定についてはWebシラバス及び学内掲示板を確認してください。

○リンク集へ

My Schedule

日 週 月

先週へ /01/15(日)~ /01/21(土) 翌週へ

01/15(日)	01/16(月)	01/17(火)	01/18(水)	01/19(木)	01/20(金)	01/21(土)
					(開始)集中補講	(終了)集中補講

新しく予定を登録する

「履修登録」をクリックする。

抽選科目は「抽選授業希望登録」から登録する。

2、履修する授業を選択します。

履修登録している授業が一覧表示されます。

曜日・時限表は「前期」「後期」の2つあり、前期科目は「前期」、後期科目は「後期」、通年科目は両方で選択できます。今年度に履修登録する全授業科目（後期科目も含む）を登録します。（短大造形学科1年は後期科目のみ7月に登録します）

抽選科目は「抽選授業希望登録」から登録になります。抽選科目の希望登録する方は、抽選結果が履修に影響するため、抽選結果公表後に抽選科目以外の履修登録をしてください。授業を選択する曜日・時限にある鉛筆マークをクリックします。専門科目時間帯（実技時間帯）の授業の選択は、「専門集中など」の鉛筆マークをクリックします。網掛けの時間帯は専門科目時間帯（実技時間帯）です。講義系科目は原則履修登録できません。（大学院は除く）

画面1 履修登録入力

■履修登録入力

STEP-1 履修登録画面 STEP-2 履修登録確認 STEP-3 履修登録印刷 STEP-4 履修登録終了

平成■■年度 前期

	前期	後期	年間
上限単位	42	42	42
対象単位	0	0	0
	0	0	0

GPAなし

背景がベージュ色の曜日・時限は、専門科目時間帯です。一般授業の登録はできません。

※特別に許可された授業を選択する場合はこちらから → 例外許可授業を選択する

例外許可授業は原則使用しない。

※ をクリックすると授業の選択ができます。 ※ 選択を取り消す場合は、チェックを外して下さい。

※ 通年授業を表示します。 ※ 例外許可授業を表示します。

表示内容で登録

① 専門科目時間帯(実技時間帯)・集中の科目はここから選択

選択	授業	授業名	担当教員	必選	単位	エラー
専門集中など						

月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜

1限 2限 3限 4限

前期

選択する曜日・時限の鉛筆マークをクリックする。

専門科目時間帯（実技時間帯）の授業を登録する時は「専門集中など」欄の鉛筆マークをクリックする。

■授業支援システム 《履修登録》

「曜日・時限」「専門集中など」をクリックすると、自分の所属と学年が履修できる授業の一覧が表示されます。この中から履修する授業を選択してチェックを付けます。
 「曜日・時限」欄では重複履修できないため原則選択は1科目ですが、「専門集中など」欄は複数選択が可能です。授業名で下線のあるものをクリックすることで、その授業のシラバスを表示することができます。
 「登録して戻る」をクリックすることで、チェックを付けた授業が登録されます。
 授業を登録せずに入力画面に戻るときは、「破棄して戻る」をクリックします。

画面2 授業一覧からの選択

平成 年度 前期

表示している授業

学期 前期 曜日 月曜 時限 5限

学部学科 10 アートデザイン表現学科メディア 学年 1 年 表示する授業 全ての授業

<検索結果> 2件の授業が該当しました。

曜日	時限	選択	授業	授業名	期間	担当教員	必修	単位	定員	申請人数	状態
月曜	5限	<input type="checkbox"/>	2R241	ヒールク・デザイン概論	前期		選択	2	-	0	
月曜	5限	<input checked="" type="checkbox"/>	2R361	ミュージアムス好き概論	前期		選択	2	-	0	

↑ここをチェック

※ 選択する場合は、チェックを付けて下さい。 ※ 選択を取り消す場合は、チェックを外して下さい。

登録して戻る 破棄して戻る

登録して戻る 破棄して戻る

登録して戻る。 登録しないで戻る。

授業名をクリックするとその授業のシラバスが表示されます。

履修する授業をチェックする。
 チェック出来ない科目は抽選科目です。
 「抽選授業希望登録」から申請してください。

■授業支援システム 《履修登録》

「登録して戻る」をクリックすると、選択した授業が履修登録入力画面に反映されます。

画面1 履修登録入力

■履修登録入力

STEP-1 履修登録画面 → STEP-2 履修登録確認 → STEP-3 履修登録印刷 → STEP-4 履修登録終了

平成 年度 前期

背景がペーじ色の曜日・時刻は、専門科目時間帯です。一般授業の登録はできません。

		GPAなし		
		前期	後期	年間
上限単位				42
対象単位				16
登録単位				16

※特別に許可された授業を選択する場合はこちらから → 例外許可授業を選択する

※ をクリックすると授業の選択ができます。 ※ 選択を取り消す場合は、チェックを外して下さい。

※ 通年授業を示します。 ※ 例外許可授業を示します。

表示内容で登録

専門科目時間帯(実技時間帯)・集中の科目はここから選択

選択	授業	授業名	担当教員	必修	単位	エラー
<input checked="" type="checkbox"/>	2R031	アートデザイン表現基礎A		必修	2	
<input checked="" type="checkbox"/>	2R061	アートデザイン表現基礎B		必修	2	
<input checked="" type="checkbox"/>	2R091	アートデザイン表現基礎C		必修	2	
<input checked="" type="checkbox"/>	2R121	アートデザイン表現基礎D		必修	2	

1限

曜日	時刻	授業	単位
月曜			
火曜			
水曜			
木曜			
土曜			

2限

曜日	時刻	授業	単位
月曜			
火曜			
水曜			
木曜			
土曜			

前期

取り消す時はチェックを外す。

選択した授業が反映される。

一度選択した授業を取り消す場合は、授業名称左のチェックを外します。
別の授業に変更する場合は、鉛筆マークをクリックして、選択済みの授業のチェックを外し、別の授業を選択します。

3、選択した授業を登録します。

今年度に履修登録する全授業科目（抽選科目・後期科目も含む）の選択を終えたら「表示内容で登録」をクリックします。クリック後、エラーチェックが行われ、履修登録の内容により、3-①[エラー無し]、3-②[エラー]、3-③[警告]の3種類の結果が表示されます。

画面1 履修登録入力

■履修登録入力

STEP-1 履修登録画面 → STEP-2 履修登録確認 → STEP-3 履修登録印刷 → STEP-4 履修登録終了

平成 年度 前期

背景がペーじ色の曜日・時刻は、専門科目時間帯です。一般授業の登録はできません。

		GPAなし		
		前期	後期	年間
上限単位				42
対象単位				16
登録単位				16

※特別に許可された授業を選択する場合はこちらから → 例外許可授業を選択する

※ をクリックすると授業の選択ができます。 ※ 選択を取り消す場合は、チェックを外して下さい。

※ 通年授業を示します。 ※ 例外許可授業を示します。

表示内容で登録

専門科目時間帯(実技時間帯)・集中の科目はここから選択

選択	授業	授業名	担当教員	必修	単位	エラー
<input checked="" type="checkbox"/>	2R031	アートデザイン表現基礎A		必修	2	
<input checked="" type="checkbox"/>	2R061	アートデザイン表現基礎B		必修	2	
<input checked="" type="checkbox"/>	2R091	アートデザイン表現基礎C		必修	2	
<input checked="" type="checkbox"/>	2R121	アートデザイン表現基礎D		必修	2	

1限

曜日	時刻	授業	単位
月曜			
火曜			
水曜			
木曜			
金曜			
土曜			

2限

曜日	時刻	授業	単位
月曜			
火曜			
水曜			
木曜			
土曜			

前期

履修登録する授業を確認後、クリックする。

■授業支援システム 《履修登録》

3-① エラー無しの場合（履修登録の確定）

登録にエラーはありませんでした。表示された内容を確認し、間違いがなければ「登録確定」をクリックします。ここで、「登録確定」を押さなければ登録内容は反映されないの注意してください。→「4. 登録を終了します」へ授業を変更するときは、「登録変更」をクリックして履修登録入力画面に戻り、再度授業を選択し直します。履修登録を取りやめるときは「登録中止」をクリックします。

画面4 履修登録確定

■ 履修登録確定

STEP-1 履修登録画面 → STEP-2 履修登録確認 → STEP-3 履修登録印刷 → STEP-4 履修登録終了

平成 年度 前期

		GPA なし	
		前期	後期
上限単位			42

履修登録の登録内容を確認して下さい。

よろしければ「登録確定」のボタンを押して下さい。登録内容を変更する場合は「登録変更」ボタンを押して下さい。登録内容今回の登録内容を中止する場合は「登録中止」ボタンを押して下さい。

間違いがない時、登録確定をクリックする。ここで「登録確定」を押さなければ登録内容は反映されないの注意。→「4. 登録を終了します」へ

変更が必要な時、登録変更をクリックする。

登録を中止する時、登録中止をクリックする。

授業	授業名	担当教員	必選	単位	エラー
2R031	アートデザイン表現基演A		必修	2	
2R061	アートデザイン表現基演B		必修	2	
2R091	アートデザイン表現基演C		必修	2	
2R121	アートデザイン表現基演D		必修	2	

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限		21031 哲学 選択 2	21121 音楽 選択 2		
2限			23181 精神保健 選択 2	24061 西洋美術史特論A 選択 2	
3限					

3-② エラーがある場合

「表示内容で登録」をクリックしたとき、エラーがある場合は、次のメッセージウィンドウが表示されて履修登録入力画面に戻ります。



履修登録入力画面では、履修エラーが発生した部分に、エラーマークと、エラー内容が表示されています。エラー内容の部分をクリックすると、エラーの詳細画面が、別ウィンドウで表示されます。エラーの詳細を確認し、エラーが発生した部分の履修を修正してください。

すべてのエラーが無くなると、「表示内容で登録」をクリックしたときに、画面4 履修登録確定が表示されるようになります。エラーが無くならないと、登録が確定できません。

■授業支援システム 《履修登録》

画面1 履修登録入力

STEP-1 履修登録画面 STEP-2 履修登録確認 STEP-3 履修登録印刷 STEP-4 履修登録終了

平成 年度 前期

		GPAなし	
	前期	後期	年間
上限単位			42
対象単位			20
登録単位			20

※特別に許可された授業を選択する場合はこちらから → 例外許可授業を選択する

※ をクリックすると授業の選択状態を切り替えます。チェックを外して下さい。

※ 通年授業を示します。

クリックすると、エラーの詳細が別ウィンドウで表示される。エラー表示が無くなるよう修正する。エラーを無くしないと履修登録を確定できません。

表示内容で登録

エラーが無くなったら、「表示内容で登録」をクリックする。

必須	単位	エラー
必修	2	
必修	2	
必修	2	
必修	2	

1限

前期

Active Academy | エラー詳細画面 - Windows Internet Explorer

http://172.16.4.37/aa_web/rishuuTouroku/rt0220.aspx#err04

03	科目が重複	履修登録した科目が重複しています。同じ科目はどっか履修できません。
04	曜限が重複	指定した時間帯の曜日・時限が重複しています。
06	制限科目	この科目の履修制限科目を満たしていません。
07	排除科目	排除科目の制限を越えています。同じグループの科目の中で、別の科目が既に履修されているので、入力した科目は履修できません。
13	卒業単位不足	【警告】卒業単位が不足しています。注意して下さい。

エラーの詳細を表示します。

ページが表示されました

インターネット 100%

■授業支援システム 《履修登録》

3-③ 警告がある場合

「表示内容で登録」をクリックしたとき、警告がある場合は、画面4 履修登録確定に進みます。

警告が発生した部分に、警告マークと、警告内容が表示されています。

警告内容の部分をクリックすると、エラーの詳細画面が、別ウィンドウで表示されます。

警告があっても、間違いではない場合、履修の修正をせずに履修登録確定はできますが、必ず詳細を確認してください。

画面4 履修登録確定

平成■年度 前期

変更が必要な時、登録変更をクリックする。

間違いがない時、登録確定をクリックする。

登録を中止する時、登録中止をクリックする。

卒業単位不足:8単位

クリックすると、警告内容が別ウィンドウで表示される。警告表示が無くなるよう修正する。修正の必要が無い時はそのまま登録が確定できる。

月	年間	GPA 4
		49
		10
		10

登録確定 登録変更 登録中止

警告の詳細を表示します。

エラーコード	エラー項目	エラー詳細
03	科目が重複	履修登録した科目が重複しています。同じ科目はひとつしか履修できません。
04	曜日が重複	指定した時間帯の曜日・時間が重複しています。
06	制限科目	この科目の履修制限科目を満たしていません。
07	排除科目	排除科目の制限を超えています。同じグループの科目の中で、別の科目が既に履修されているので、入力した科目は履修できません。
13	卒業単位不足	警告]卒業単位が不足しています。注意して下さい。

4、登録を終了します。

履修のエラーが無くなり、画面4 履修登録確定で「登録確定」をクリックすると、画面5 履修登録印刷に移動します。

画面5 履修登録印刷画面

「確認表を印刷」をクリックし、必ず登録内容を印刷する。

「登録終了」で履修登録を終了します。

履修登録が完了しました。

履修登録の確認のために当画面の「確認表を印刷」ボタンを押して、PDF出力を行って下さい。終了ボタンを押して下さい。終了画面へ進みます。

期別	曜日	時間	授業	授業名	担当教員	必修	単位	注意
通年	-	-	3596E	古美術研究(立)	〇〇 太郎	選択	2	例外
通年	-	-	35HJA	インタラクションB	〇〇 花子			例外
通年	月曜	5限	3309A	スポーツ実習(2/3)	〇〇 太郎	選択	2	
通年	火曜	3限	3230A	イタリア語(中級)	〇〇 次郎	選択	2	例外
後期	火曜	1限	35DUA	色彩計画論B	〇〇 秋子	選択	2	
後期	水曜	2限	35FTA	舞台美術論	〇〇 三郎	選択	2	
後期	木曜	2限	3139A	言語学A	〇〇 次郎	選択	2	
後期	金曜	1限	3106A	哲学B	〇〇 夏子	選択	2	
後期	金曜	2限	35CTA	絵画表現論	〇〇 次郎	選択	2	
後期	金曜	3限	3172A	社会学A	〇〇 春子	選択	2	

確認表を印刷 登録終了

登録終了

■授業支援システム 《履修登録》

「確認表を印刷」をクリックすると、履修登録内容をPDF形式で表示します。

ここで必ず確認表を印刷しておいてください。

特に履修訂正の際、その印刷がない場合、履修登録内容が自分の履修計画と異なっていても、再訂正は一切認められません。

平成 年度 履修登録確認表 (後期)

学籍番号	学生氏名	前期	後期	年間
		なし	なし	42
		1	13	14
		2	15	18

学期	期間	授業コード	授業科目名	担当教員名	必修	単位	教養名	抽選	備考	エラー内容
1										
2										
3										
4										
5	通年	3309A	スポーツ実習(90分×1)	〇〇 太郎	選択	2	実技教養			
6										
大										
1	後期	3501A	色彩計画論B	〇〇 秋子	選択	2	S1312			
2										
3	通年	3230A	イタリヤ語(中級)	〇〇 次郎	選択	2	S132		例外	
4										
5										
6										
水										
1	後期	3507A	舞台芸術論	〇〇 三郎	選択	2	S133			
2										
3										
4										
5										
6										
木										
1	後期	3133A	音楽学A	〇〇 次郎	選択	2	S143			
2										
3										
4										
5										
6										
金										
1	後期	3106A	哲学B	〇〇 真子	選択	2	S133			
2	後期	3507A	倫理実習論	〇〇 次郎	選択	2	S1314			
3	後期	3172A	社会学A	〇〇 幸子	選択	2	S143			
4										
5										
6										
土										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
集中など	通年	3506E	古美術研究(Ⅱ)	〇〇 太郎	選択	2	実技教養		例外	
	通年	3513A	インターンシップB	〇〇 花子	選択	2	実技教養		例外	

ポータルサイトの利用が終わったら、画面の「ログアウト」をクリックして終了します。

画面6 履修登録完了

Active Academy

トップページ 掲示板 Web申請 授業支援 就職活動支援 アンケート My Information **ログアウト**

■ 履修登録完了

STEP-1 履修登録画面 → STEP-2 履修登録確認 → STEP-3 履修登録印刷 → **STEP-4 履修登録完了**

履修登録が完了しました。
おつかれさまでした。

TOP画面へ戻る場合はこちらへ → **トップページ**

ログアウトする場合はこちらへ → **ログアウト**

■授業支援システム 《履修登録》

資料「エラー詳細画面」

全てのエラーをなくしないと、履修登録は完了できません。

ただし、エラー詳細で【警告】となっている項目は、修正を行わなくても履修登録を確定することが可能です。

画面7 エラー詳細画面

エラーコード	エラー項目	エラー詳細
03	科目が重複	履修登録した科目が重複しています。同じ科目はひとつしか履修できません。
04	曜限が重複	指定した時間割の曜日・時限が重複しています。
06	制限科目	この科目の履修制限科目を満たしていません。
07	排他科目	排他科目の制限を越えています。同じグループの科目の中で、別の科目が既に履修されているので、入力した科目は履修できません。
13	卒業単位不足	【警告】卒業単位が不足しています。注意して下さい。
15	分割科目未履修	【警告】分割科目が未履修です。新カリキュラムの科目は、全ての分割科目を履修しないと単位として認められませんので、注意して下さい。
17	履修上限超過	【警告】履修登録した授業の単位数が上限値に達しています。履修上限値と現在の登録単位数は画面右上で確認して下さい。(上限単位:履修登録できる上限単位数、対象単位:上限チェック対象科目の合計単位数、登録単位:上限チェック対象科目以外も含む全科目の合計単位数)
63	重複再履修申請不可	重複再履修として申請できません。再履修者以外は申請できません。
65	同一曜限の授業がない	重複再履修として履修登録する場合は、同じ曜日・時限ご別の授業の履修登録されなければなりません。
69	定員エラー	定員を満たしている授業
81	卒業要件マスタ未登録	【警告】卒業要件マスタが未登録です。教育支援センターにお問い合わせをお願いします。
112	履修登録できないエラー	この授業の履修登録はできません。詳細は教育支援センターまでお問い合わせをお願いします。

閉じる

ページが表示されました

インターネット 100%

■授業支援システム 《抽選授業希望登録》

1、ポータル画面より、抽選授業希望登録を起動します。

女子美術大学
JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

Active Academy

Welcome ■■■■■さん! ここはあなたの Personal Page です。

TOP
このページです
掲示板
学年暦
個人へのお知らせ
連絡事項
休補講情報
リンク登録

授業支援
履修登録
通年授業履修中止申請
抽選授業希望登録
授業抽選結果
教員情報照会
レポート提出
シラバス (大学)
シラバス (短期大学)
シラバス (大学院)
就職活動支援

補講日の予定については、学内掲示板を確認してください。
(学部・短大)1年次「基礎学習ゼミ」の予定についてはWebシラバス及び学内掲示板を確認してください。

○ リンク集へ

My Schedule

日 週 月

先週へ /01/15(日)~ /01/21(土) 翌週へ

01/15(日)	01/16(月)	01/17(火)	01/18(水)	01/19(木)	01/20(金)	01/21(土)
					(開始)集中補講	(終了)集中補講

新しく予定を登録する

「抽選授業希望登録」をクリックする。

2、抽選グループを選択します。

希望を登録する抽選科目が含まれるグループを一覧から選択します。
「抽選グループ名」をクリックすると抽選授業希望登録画面が表示されます。

画面1 抽選グループ一覧

Active Academy

トップページ 掲示板 授業支援 就職活動支援

■ 抽選授業希望登録 グループ一覧

STEP-1 グループ一覧 STEP-2 希望登録

年度 前期

あなたが申し込みできる抽選グループの一覧です

※ 抽選グループ名をクリックし、抽選授業希望登録画面から、希望順位を登録して下さい。
※ 全抽選グループの登録が終了したら、[登録内容を印刷する]ボタンをクリックし、PDF出力を行って下さい。

登録内容を印刷する

抽選グループ名	申込状況
<input checked="" type="radio"/> 外国語1・3年次(1・2・5時限開設)	
<input type="radio"/> 学部共通科目C群(体育系)	
<input type="radio"/> コンピュータ入門A	
<input type="radio"/> コンピュータ入門B	
<input type="radio"/> 国学A	
<input type="radio"/> 国学B	

抽選登録をするグループをクリックする。

3、抽選授業の希望を登録します。

グループ内の抽選授業の希望順位を登録します。1グループ内で当選する授業は原則1つです。当選した抽選授業は履修登録済となり、取り消す場合は、履修登録画面から選択のチェックをはずしてください。（「美術共通実技・演習A、B」「デザイン工芸選択実技A、B」等、一部の抽選科目は取り消しできません）グループで指定されている希望順位全てまたは希望順位以内で、「希望順位」を登録します。「登録確定」をクリックすると希望内容を登録し、画面1 抽選グループ一覧に戻ります。「登録中止」をクリックすると希望内容を破棄し、画面1 抽選グループ一覧に戻ります。

画面2 抽選授業希望登録

年度 前期

外国語1・3年次(1・2・5時間開設) グループ

第3希望以内で登録してください(任意)

当選授業数は1つです。
抽選後、定員に空きの出た授業は先着順で履修登録可能です。

※ 当選授業は取消できません。

登録確定 登録中止

※「第0希望以内で登録(任意)」の場合は希望する科目がなければ全て順位を入れる必要はない。ただし、当選確率は下がる。
※「必須」の場合は指定

希望順位を登録し、抽選グループ一覧に戻る。

希望順位を登録せず、抽選グループ一覧に戻る。

授業名をクリックするとその授業のシラバスが表示されます。

希望順位	授業コード	授業名	単位	(参考)第1希望申込	定員	備考
第1希望	2031	英語Ⅰ	2	0	35	
	2032	英語Ⅰ	2			
第2希望	2033	英語Ⅰ	2			
	2034	英語Ⅰ	2			
第3希望	2121	英会話A	2		20	
	2181	特設英語	1		35	
	22182	特設英語	1		35	
	22183	特設英語	1		35	

「登録内容を印刷する」をクリックすると、抽選希望登録内容をPDF形式で表示します。

印刷する。

データ保存する。

年度 抽選授業希望登録確認表 (前期)

学籍番号 学生氏名 ※当選授業は取消できません

外国語1・3年次(1・2・5時間開設)

希望順位	授業コード	授業科目名	担当教員名	期間	曜日・時間	単位
第1希望	22031	英語Ⅰ		通年	火曜1限	2
第2希望	22033	英語Ⅰ		通年	火曜2限	2
第3希望	2121	英会話A		通年	火曜5限	2

ポータルサイトの利用が終わったら、画面の「ログアウト」をクリックして終了します。

■授業支援システム 《抽選授業結果》

1、ポータル画面より、授業抽選結果を起動します。



女子美術大学
JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN



Welcome ■■■さん! ここはあなたの Personal Page です。

2、抽選結果を確認します。

抽選結果（当選／落選）を確認します。抽選にもれた場合は、単位が不足していないか確認してください。「印刷」をクリックすると、表示内容がPDF出力され、印刷・データ保存できます。「閉じる」をクリックするとトップページに戻ります。

抽選結果発表後、残席がある抽選科目は、履修登録入力画面で登録できます。同じグループ内で2つ以上の授業を履修したい方、落選して登録したい方は登録してください。履修登録完了した方から、先着順で授業の定員まで登録されます。履修登録完了した時点で、定員を超えてしまった場合は、登録できません。残席は、他の学生の履修取消により変動します。

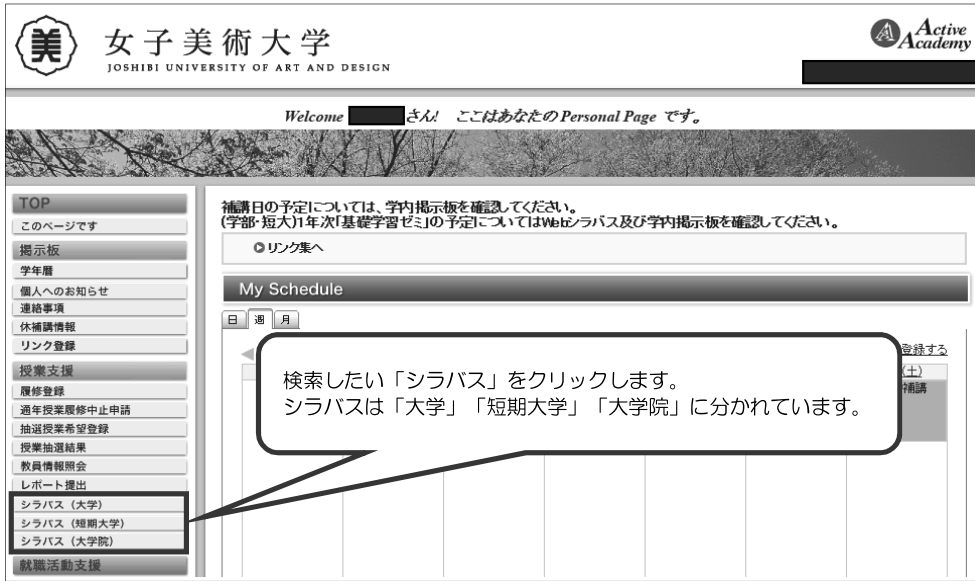
画面1 抽選授業結果確認

抽選結果	希望順位	授業コード	授業科目名	担当教員名	期間	曜日・時限	単位
落選	第1希望	3208A	英語Ⅰ	○○ 太郎	通年	火曜1限	2
当選	第2希望	3221A	ドイツ語(初級)	○○ 春子	通年	火曜2限	2
未抽選	第3希望	3236A	中国語(初級)	○○ 夏子	通年	火曜1限	2

ポータルサイトの利用が終わったら、画面の「ログアウト」をクリックして終了します。

■授業支援システム 《シラバス閲覧》

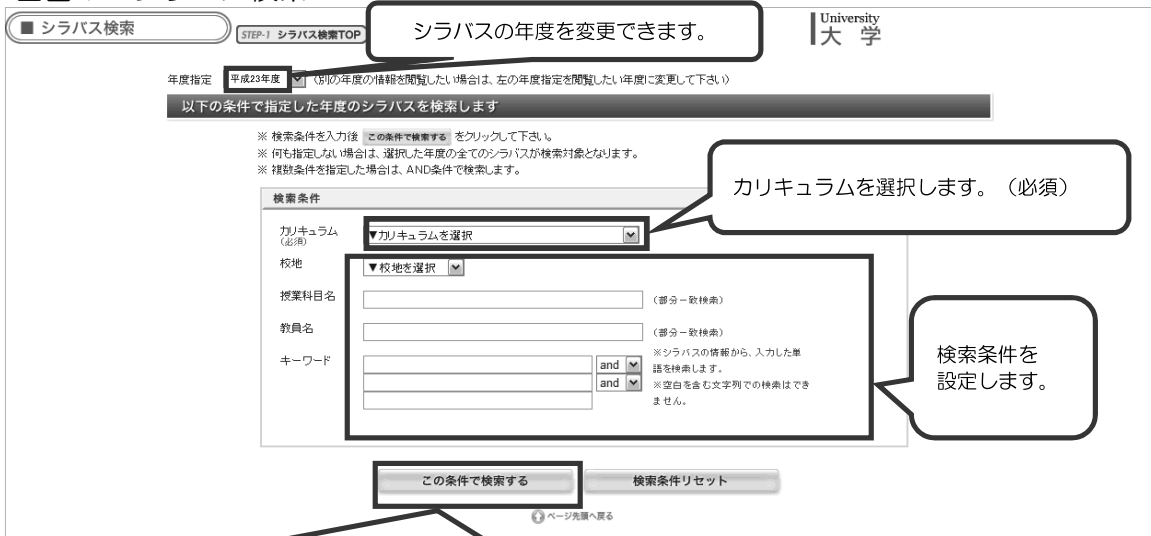
1、ポータル画面より、シラバス閲覧を起動します。



2、シラバス検索条件を入力します。

シラバスを閲覧する科目の検索条件を入力して、「この条件で検索する」をクリックします。カリキュラムは必須入力項目となります。

画面1 シラバス検索



設定した検索条件で検索します。検索条件設定が無い場合、選択したカリキュラムのシラバスが全件表示されます。

【検索条件】

項目名	必/任	説明
カリキュラム	必須	カリキュラムを選択します。
校地	任意	校地を選択します。
授業科目名	任意	授業科目名を入力します。部分一致検索となります。
教員名	任意	教員名を入力します。部分一致検索となります。
キーワード	任意	シラバスの、授業科目名、開講期間、配当年、単位数、授業形態、担当教員名、授業内容、授業計画の中に入力された単語を検索するための、キーワードを入力します。

■授業支援システム 《シラバス閲覧》

3、シラバスを表示します。

検索結果一覧が表示されるので、閲覧するシラバスの授業科目名をクリックします。
科目区分で絞り込み検索をする場合は、閲覧したい区分を選択し、「科目区分で検索」をクリックします。

画面2 検索結果一覧

科目区分で絞り込み検索をする場合は、閲覧したい区分を選択し、「科目区分で検索」をクリックします。

授業科目名をクリックするとシラバスが表示されます。

授業科目名	開講期間	配当年	単位数	授業形態	担当教員	校地
基礎学習ゼミ	前期	1年次	2単位	講義		杉並校地
ジャンパー論	前期	1年次	2単位	講義		杉並校地
国際留学プログラム	通年	1年次	2単位	演習		杉並校地
サーブスラーニング	通年	1年次	2単位	演習		杉並校地
サーブスラーニング	*	1年次	2単位	演習		杉並校地
キャリア形成(前期)	前期	1年次	2単位	講義		杉並校地
キャリア形成(後期)	後期	1年次	2単位	講義		杉並校地
インターンシップA~D	通年	1年次	1~4単位	実技		杉並校地

画面3 授業内容

「シラバス検索TOPに戻る」で、画面1 シラバス検索に戻ります。
「検索結果一覧に戻る」で、画面2 検索結果一覧に戻ります。
「ページの先頭に戻る」で、画面3 授業内容画面の先頭に戻ります。

選択した授業科目の内容です

平成 年度

授業科目名： 国際留学プログラム 授業コード： 25091 2509A
英文科目名： *

開講期間	配当年	単位数	授業形態
通年	1~4年次	2単位	演習

担当教員

杉並校地 2010~年度入学生対象 E群

科目キーワード 海外大学における研修または留学を通じて異文化の中で芸術表現や研究活動を展開し、国際感覚を涵養する。

授業内容1 (1)本学が企画する海外大学における研修で、現地の授業時間数が60~90時間(授業の方法を問わず30~45時間の授業をもって1単位とする)のカリキュラムを履修する。
(2)本学の学術交流協定大学において協定海外留学生として、夏期休業期間中又は春期休業期間中に延べ60~90時間(授業の方法を問わず30~45時間の授業をもって1単位とする)の現地授業科目を履修する。

授業内容2

授業計画 カリキュラムまたは現地授業科目により異なる。詳細は募集説明会や出国前オリエンテーション等で解説する。

到達目標 異文化の中で芸術表現や研究活動を展開すること。言語運用能力を高め、言葉によるコミュニケーションの重要性を認識すること。将来、長期の海外留学を希望する者は、留学生活における基本行動様式を身につけること。

授業以外の学習方法 (予習・授業準備(復習等) 出国前から研修先または留学先言語の運用能力を向上させる学習を欠かさないこと。現地の芸術、文化、伝統、人の思考方法や生活様式に関心をもち理解を深めることで、より充実した学習期間を過ごすことができる。

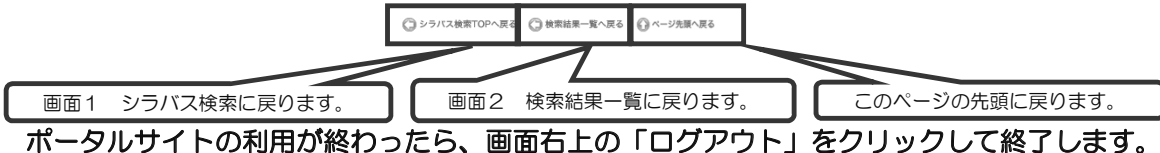
履修者への注意事項 ※履修について
○研修プログラムや留学プログラムが実施される場合は、指示板を通じて通知する。
○研修プログラムや留学プログラムは人数制限があるため、抽選または選抜試験を行うことがある。
○単位取得を希望する場合は、研修または留学の終了後に履修登録を申請すること。
外国で学習するために最も必要なのは、身体と精神の健康を保つことである。健康管理に努め、自分なりのストレス解消法を身につけておくことが望ましい。また、日本と社会環境が違う外国での生活では、トラブルや各種危機の管理に配慮することは極めて重要であり、「自分の身は自分で守る」という大原則を常に意識してほしい。

評価方法 (1)研修先または留学先の教員の学習評価書75%、提出レポート25%
(2)上記(1)による成績評価が困難な場合は、「海外芸術プログラム」としての単位のみを認定する。

テキスト 研修先または留学先でテキストが指定され、また、プリント類が配布されることがある。

参考文献・参考作品 特にないが、募集説明会や出国前オリエンテーション等で紹介することがある。

参考リンク



■授業支援システム 《Web レポート提出の手順について》

一部の科目においてWeb上でレポート提出を行います。Active Academy「Webレポート提出」メニューから、提出及び提出状況確認が可能です。

【Web上でレポートを提出する際の注意事項について】

下記時間帯はシステムのメンテナンス時間となり、Active Academyへ接続できないので注意してください。

停止時間: 毎日 (AM) 2:00~7:30

指定されたレポート提出期限当日の締切直前の時間帯(日付が翌日に変わる24:00直前など)は回線が混み合うことがありますので、締切日までに余裕をもって提出するようにしてください。

【注意】回線の混雑により締切日までに提出できなかった場合でも、教育支援センターでは提出を受け付けませんので注意してください。

●Webレポート提出作業の流れについて

1. ポータル画面より、レポート提出情報を確認します。

補講日の予定については、学内掲示板を確認してください。
(学部・短大)1年次「基礎学習ゼミ」の予定についてはWebシラバス及び学内掲示板を確認してください。

●新しいレポートがあります ●リンク集へ

①「新しいレポートがあります」をクリックすると、新着のレポート情報が表示されます。(画面.1)

②「レポート提出」をクリックします。(画面.2) (画面.1: 新着レポート情報)

あなた宛の新しいレポートが、 1 件あります。

NEW	04/28	レポート課題について	現代美学	月曜日	5時限	
-----	-------	------------	------	-----	-----	--

※表示している日付はレポート開始日です。

2. レポート提出する授業を選択します。

履修している授業のうち、教員がWeb上でのレポート提出を設定した授業科目の一覧が表示されます。

(授業科目名、開講学期、曜日時限、担当教員名、レポート名、レポート番号、提出先、掲載日、提出期限、提出日、提出状況)

(画面.2: レポート一覧画面(例))

①新着のレポート情報の場合、「NEW」と表示されます。

②レポート名をクリックすると、レポート提出画面へ移ります。(画面.3)

授業	授業科目名	開講学期	曜日	時限	担当教員名	レポート名	レポート番号	提出先	掲載日	提出期限	提出日	提出状況
NEW	現代美学	前期	月曜日	5時限		レポート課題について	1622433A001	Web	28年04月28日	28年05月15日		未提出

(画面.3: レポート提出画面)

③レポートの内容について下記を確認してください。

- レポート名
- 授業名
- 掲載日
- 提出期限
- 課題内容
- 提出方法
- 備考
- 添付ファイル

④「ファイルを添付」をクリックし、レポートのデータを添付します。

レポートを提出する キャンセル

3. アップロード(添付)するレポートのデータを選択します。

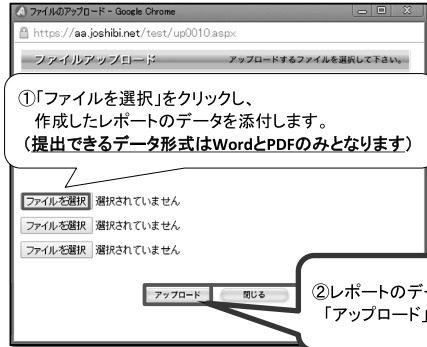
【注意】提出する際は、下記の事項について特に注意しながら作業を行ってください。

ボタンを押してファイルを選択して下さい。同一ファイルの複数アップロード不可。
 1ファイル5Mまでのファイルを最大3ファイル同時にアップロード出来ます。
 容量が大きいファイルを指定すると「ページを表示できません。」画面が表示される可能性があります。
 「ページを表示できません。」画面が表示された場合はウィンドウを閉じてやり直して下さい。
 ファイル名は全角27文字(半角55文字)以下にしてください。
 PDF(pdf)、Word(doc、docx)ファイルのアップロードが可能です。

【備考】PC画面上でファイルアップロード画面が表示されない場合

各自で利用しているブラウザ(chrome、safari、Fire fox等)の設定からポップアップブロックを解除してください。

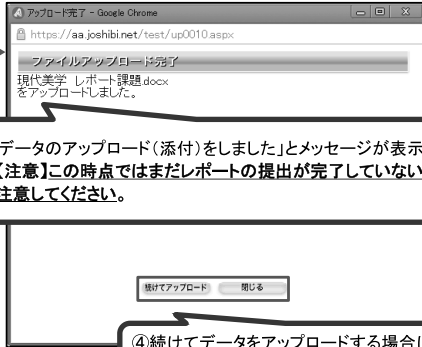
(画面.4:ファイルアップロード画面)



①「ファイルを選択」をクリックし、作成したレポートのデータを添付します。(提出できるデータ形式はWordとPDFのみとなります)

②レポートのデータ添付が完了したら、「アップロード」ボタンをクリックします。

(画面.5:ファイルアップロード完了画面)



③「データのアップロード(添付)をしました」とメッセージが表示されます。【注意】この時点ではまだレポートの提出が完了していないので注意してください。

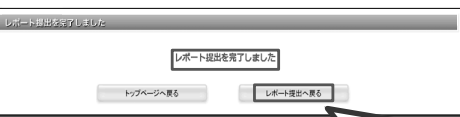
④続けてデータをアップロードする場合は「続けてアップロード」ボタンを押します。

4. 添付したレポートのデータを提出します。



①「ファイルアップロード作業」が全て完了したら、「レポートを提出する」ボタンを押してください。

(画面.6:レポート提出完了画面)



②「レポート提出を完了しました」と表示されたら提出作業は完了です。「レポート提出へ戻る」ボタンを押して提出状況を必ず確認してください。(画面.7)

(画面.7:レポート提出一覧画面)



③提出状況が「提出済」と表示されているか必ず確認してください。

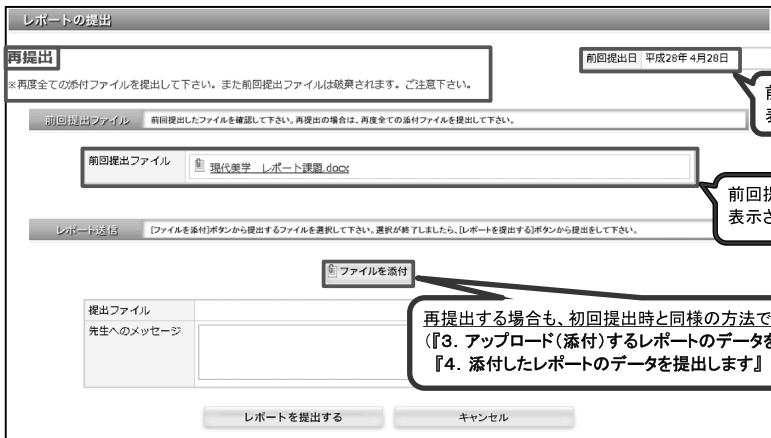
※レポートを再提出する場合について

レポートの再提出について、教員が設定した提出期限内であれば一度提出したレポートを再度提出する事が可能です。

【注意】ただし、再提出した場合は前回提出したレポートのデータは全て破棄されますので、注意してください。

例:最初にレポートを複数提出し、その後提出した内の1つのレポートだけを再提出した場合、前回提出時のレポートは全て破棄されます。

その場合は再提出するレポートと一緒に、必ず前回提出した他のレポートも同時に再提出してください。



前回レポートを提出した日付が表示されます。

前回提出したレポートが表示されます。

再提出する場合も、初回提出時と同様の方法で提出します。
 『3. アップロード(添付)するレポートのデータを選択します』
 『4. 添付したレポートのデータを提出します』を参照

Web 出欠登録の手順について

●はじめに ～Web出欠登録について～

【スマートフォン出欠登録専用サイトについて】

- 女子美術大学では、講義系授業科目における出席の届け出について「Web出欠管理システム」を導入しています。出欠登録専用サイトQRコード
- 各自で出欠登録専用サイトへログイン&出欠登録を行うことで、授業科目毎の出欠情報がActive Academyの「出席簿」へ自動で登録されるため、出欠状況をリアルタイムに確認・把握する事が可能となります。

【ログインページについて】

- (出欠登録専用サイトのURL) <https://aa.joshibi.net/attend/>
- スマートフォン・タブレット端末・PCからアクセス可能です。 ※QRコードでの接続も可能です。
- ☞上記URLをブックマーク(お気に入り登録)しておく、次回より登録作業がスムーズになります。

【ユーザーIDとパスワードについて】

- Active Academyにログインする際に使用するユーザーID、パスワードと同じです。
- ユーザーIDとパスワードを忘れてしまった場合は、下記「図書美術館グループ」までお問合わせください。
- ・杉並キャンパス2号館B1階
- ・相模原キャンパス3号館(図書館)3階

【出欠登録時における注意事項について】

- 出欠登録専用サイトは学内Wi-Fiのみ接続・利用が可能です。(学外での接続・使用はできません)
- 出欠登録の際、毎回特定のパスワードを入力する必要があります。
- ☞パスワードは授業開始前に担当教員より告知されるので、よく注意して確認してください。
- 出欠登録は制限時間内に行う必要があります。
- ☞出欠登録時間外は「遅刻」または「登録時間外」となりますので、パスワードを確認次第、早急に登録してください。

●出欠登録作業の流れについて

1. 出欠登録を行うために学内Wi-Fiへ接続します。

(例: iPhoneを使用する場合)

- ①設定画面 を開き、Wi-Fiを選択し、学内Wi-Fiに接続します。

- ②接続先が表示されるので、「joshibi-wlan」を接続先として選択し、ユーザーIDとパスワードを入力します。

※Active Academyに接続する際に使用するパスワードと同じです。

- ③正常に学内Wi-Fiに接続されると✓が付き、接続作業は完了です(図.1)

※Wi-Fiへの接続はiPhone/Android等のOSや、そのバージョンによって、設定方法が異なる場合があります。その際は端末の説明書をご確認ください。

図.1 Wi-Fi接続先選択画面



Wi-Fi接続をONにしてください。

2. スマートフォン専用の出欠登録専用サイトに接続します。

- ①学内Wi-Fiと接続したら、ブラウザアプリ(Safari等)で、出欠登録専用サイトにアクセスしてください。

<https://aa.joshibi.net/attend/> (※URLの打込み間違いに注意!)

※QRコードでの接続も可能です。

- ②ログイン画面が表示されたら、ユーザーIDとパスワードを入力してください。(図.2)

図.2 ログイン画面



正常にログインすると出欠登録画面が表示されます。(図.3)

Active Academyにログインする際に使用するユーザーID、パスワードと同じです。

正常にログインが出来なかった場合・・・(図.4)

図.4 エラー画面



図.3 出欠登録画面



自身の学籍番号・氏名で表示されているか確認してください。

- 各自で履修登録している、1週間分の授業情報(講義科目)のみ一覧で表示されます。
- 週の表示は日曜始まりとし、日曜になると翌週の表示に変わります。
- ここで表示される内容は下記の通りとなります。
- ①学籍コード ②氏名 ③日付 ④曜日 ⑤教室名[] ⑥担当教員

【エラー原因について】

- ・学外(授業実施教室外)で接続している場合
 - ☞(学外での接続・使用はできません。)
- ・学内(授業実施教室内)で接続している場合
 - ☞学内Wi-Fiに正しく接続されているか確認をしてください。
 - ☞接続が混雑している可能性がありますので、少し時間を空けて再度ログインを試みてください。

出欠登録専用サイトQRコード



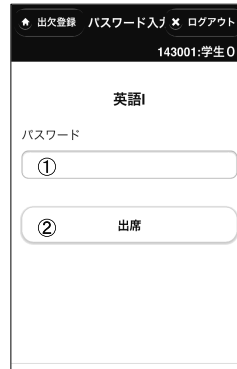
3. 出席する授業のパスワードを入力し、登録を完了します。

図.3 出欠登録画面



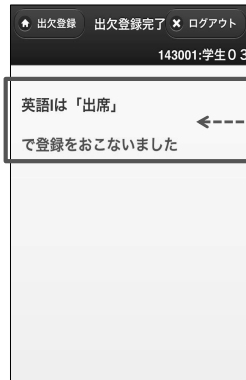
出欠登録画面(図.3)で、出席する授業名を選択するとパスワード入力画面に遷移します。(図.5)

図.5 パスワード入力画面



正しいパスワードを入力した場合、「〇〇(科目名)は「出席」で登録をおこないました」と表示されます。(図.6)

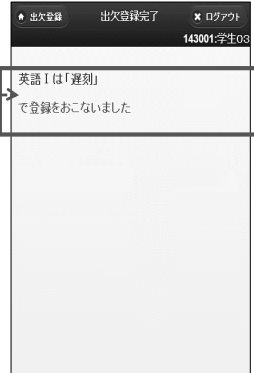
図.6 出欠登録完了画面



- ①「パスワード」入力欄に担当教員から事前に告知された指定のパスワードを入力します。(図.5)
- ②「出席」ボタンを押してください。

出欠登録時間外に登録した場合・・・

図.7 遅刻登録画面



出欠登録時間外に登録した場合、「〇〇(科目名)は「遅刻」で登録をおこないました」と表示されます。(図.7)

図.8 出欠登録画面



出欠登録画面に戻ると、出欠登録した授業の時限の横に登録状態(出席・遅刻・欠席)が表示されます。(図.8)

※無線接続時の混雑回避の為、作業終了後は必ずログアウトし、学内Wi-Fiの接続を終了するよう、ご協力ください。

以上でスマートフォン専用サイトによる出欠登録作業は終了です。各自、Active AcademyのMyInformation-個人情報-「出欠情報」にて出席状況を確認してください。

●おわりに ～Web出欠登録に関するQ&A～

- Q. 自分のユーザーIDとパスワードが分からないor忘れてしまった場合・・・
 - A. 「図書美術館グループ」までお問い合わせください。(前ページの『●はじめに・・・【ユーザーIDとパスワードについて】』を参照)
- Q. お手持ちのスマートフォン、タブレット、携帯で出欠登録が出来ない場合・・・
 - A. 授業開始時に、機種の問題等で出欠登録が出来ない方を対象に登録可能なPCもしくはタブレットを事前に準備しますので、そちらで各自登録を済ませてください。
- Q. 学内Wi-Fiに接続出来たが、出欠登録専用サイトにアクセスできない場合・・・
 - A. 出欠登録専用サイトのURLを打ち込む際に、下記誤入力をしている場合が考えられますので、よく確認をしながらURLを打ち込んでください。
 ☞よくある誤入力・・・【URLの最初、httpsの「s」が抜けている】、【「.」が抜けている】、【URLの最後に「/」を入れ忘れてる】等
- Q. 出欠登録完了後、出欠登録画面に【出席】と表示されたのに、後日Active AcademyのMyInformation-個人情報-「出欠情報」で確認すると、出席になっていなかった場合
 - A. このような場合は、至急教育支援センターの窓口へ来てください。
 【重要】出欠登録後、該当科目に【出席】が表示されたら、なるべくその場でActive Academyの出欠情報に反映されているか確認しておいてください。
 (※念の為、登録完了が表示された画面をスクリーンショット等で保存しておく、窓口で事情が説明しやすいかと思います。)

履修登録について

- Q.** 後期の科目も前期に履修登録するのですか。
- A.** その通りです。きちんと履修計画を立てて登録してください。
- Q.** 同一名称の科目を複数履修登録できますか。
- A.** 共通科目B群(外国語コミュニケーション)、共通科目C群「スポーツ演習A～D」は、内容(教科書)・種目が異なれば複数履修が可能です。また、共通科目E群「キャリア形成」「サービス・ラーニング」「インターンシップA～D」「国際留学プログラム」は複数履修可能です。
- Q.** 1年間で履修できる単位数はいくつですか。
- A.** 履修の手引 P.12を参照してください。
- Q.** 履修している科目を中止したいのですが、できますか。
- A.** 履修の手引 P.21を参照してください。
- Q.** 以前に単位修得した科目を、再度、履修することはできますか。
- A.** 単位修得した科目を、再度、履修することはできません。
詳細については、P.20を参照してください。
- Q.** 現在2年次生で、教職課程を取っていますが、1年次の教職科目の単位を修得できませんでした。2年次で再履修することはできますか。
- A.** 時間割上再履修が可能な場合に限り、2年次に再履修可能ですが、在学中の免許取得ができなくなります(一部科目を除く)。詳細については教育支援センターまでご相談ください。

WEB履修について

- Q.** アクティブ・アカデミーのパスワードを紛失した場合はどうしたらよいですか。
- A.** 2号館地階の図書館カウンターまで申し出てください。
- Q.** 抽選登録するのを忘れた場合はどうしたらよいですか。
- A.** 抽選結果発表後、残席のある科目を先着順で履修登録できます。ただし、基礎造形を登録し忘れた場合は至急、教育支援センターに申し出てください。
- Q.** 取りたい科目がポータルサイトの画面上に表示されません。
- A.** 次のことをまず確認してください。
・曜日時限は合っているか。
・過去に単位修得した科目ではないか。
・科目の年次指定で、自分の学年が対象になっているか。
上記にあてはまっていて表示されない場合は、システムエラーの可能性があるので、教育支援センターに連絡してください。
- Q.** アクティブ・アカデミーの「お知らせ・連絡事項・休講情報」は携帯電話への転送設定ができますか？
- A.** 可能です。設定することをおすすめします。詳細は履修の手引 P.61を参照してください(プロフィール変更)。

その他

- Q. 授業を行う教室はどこでわかりますか。**
- A. 時間割表に記載があります。なお、教室が変更される場合もありますので、掲示板でも確認してください。
- Q. 授業概要(シラバス)を見たいのですが。**
- A. ポータルサイトのトップ画面に表示されている「シラバス」をクリックして、授業概要(シラバス)を検索してください(履修の手引 P.73を参照)。
- Q. 成績証明書に不合格科目の成績も記載されますか。**
- A. 成績証明書には単位修得した科目の成績のみ記載されます。
- Q. 親戚に不幸があったので、忌引きの手続きをしたいのですが。**
- A. 女子美には忌引きの制度はありません。ただし、追試験の理由には該当します(履修の手引 P.8, 13を参照)。
- Q. 実技時間帯に履修したい科目があるのですが、できますか。**
- A. 実技時間帯に他の科目を履修することは認められません。ただし、卒業年次生で卒業に必要な科目である場合、研究室の許可があれば認められることもあります。
- Q. 学期末試験に学生証を忘れました。**
- A. 教育支援センターの窓口で「受験許可書」を発行しますので、申し出てください。
- Q. ケガのため、1ヶ月程入院することになりました。何か手続きは必要ですか。**
- A. 長期欠席届を提出してください。なお、欠席していた期間の授業内容については、担当教員に確認をしてください。
- Q. 自分の出席回数を知りたいのですが。**
- A. 出席回数は各自で記録して下さい。ただし、マークシート式聴講票や、パソコン・タブレットまたはスマートフォン端末を利用して出席確認を行う授業は、ポータルサイト「個人情報」メニューから確認することができます。
- Q. オフィスアワーとは何ですか。**
- A. 先生に自由に質問、相談できる時間帯です。利用の一覧表は4月にポータルサイトで配信されていますので、参考にしてください。

2019 短期大学部 履修登録用時間割 下書き表

		前期	月	火	水	木	金	土
造形学科 実技時間帯	2年次	1時限						
		2時限						
	1年次	3時限						
		4時限						
		5時限						
		6時限						

		後期	月	火	水	木	金	土
造形学科 実技時間帯	2年次	1時限						
		2時限						
	1年次	3時限						
		4時限						
		5時限						
		6時限						

集中 など							

「集中など」の欄には実技系授業、集中授業、教育実習等を記入してください。